

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【国語】

<p>書名 項目</p>	<p>新しい 国語</p>		<p>2 東京書籍</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な場面で陥りがちな課題に関するつまずきの場面を描いた「学びの扉」が、関連する教材の直前に配置されている。その課題解決のために、基礎編「学びを支える言葉の力」が巻末に用意されている。両者を学び基礎的な考え方を理解してから本編教材に取り組むことで、課題への理解が深められる配置となっている。 ・「てびき」で学習目標が明示され、学習の見通しをもち、「振り返り」で、身につけた力が確認できるよう設定されている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩歌の鑑賞から創作へ、文学教材から描写・表現の学習へと、「読むこと」の学びを表現の学習に生かし深められるよう、教材が配置されている。 ・ものの見方、考え方を広げ深められるよう、説明文中での図表の読み解きや、同じテーマについて異なる視点から論じた評論文の読み比べを取り上げている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域の言語活動で身につけたい知識・技能のポイントが、「言葉の力」としてまとめられている。 ・3年間で学ぶ「言葉の力」が、巻末に一覧として掲載されている。領域ごとの「言葉の力」が系統的にまとめられ、一覧として確認できることで、3年間の学習を見通したり、振り返ったりしながら、中学校で身につけたい言語活動の知識や技能を効果的に習得・活用できる構成となっている。 ・国語の学びを日々の暮らしで活用できるよう、「生活への広がり」という囲み記事が設けられ、具体的な生活とのつながりが示されている。 	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科の学習内容と関連して相互に学びを深めることのできる教材が配置され、教科関連マークで明示されている。 ・情報の扱い方に関する教材は、各学年に配置されている。同じ出来事を取り扱っても発信する側の意図によって、与える印象を変えられることが理解できる配置となっている。 		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の題材として、2つの立場の中から自分の立場を決めて表現する課題が取り入れられている。自分の立場を決めて考えさせることで、学習者の能動的な取り組みを促している。 ・インターネットを通して無料で利用できる音声や映像などの資料が用意されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年前半には、各領域で小学校高学年の復習としても扱える教材が配置されている。 ・2、3年と文章の難易度も上がり、特に3年では高校への橋渡しを意図した社会性の高い題材や言語活動が多く設けられている。 		

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等） 【国語】

書名 項目	現代の国語	1 5 三省堂
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材冒頭に「つきたい力」として学習目標を提示、末尾に学習を振り返る機会が設けられている。 ・「読むこと」の教材では「学びの道しるべ」において5つのステップで、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では教材に応じた数のステップで、学習のプロセスが示されている。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの「読み方を学ぼう」で、具体的な文章の読み方、思考力・判断力・表現力を伸ばすための方法が、図などを使い視覚的にも工夫されている。また「思考の方法」において、考えを深める方法が各教材の学習活動と関連づけながら提示されている。 ・「学びの道しるべ」に示されたプロセスで学習することでねらいに沿った深い読みができ、更に発展した「学びを広げる」によってその学びを深めることができるように工夫されている。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階や学年の特性、学校生活や学校行事等を考慮した単元構成である。 ・学習の振り返りとして、教材ごとに学んだ内容や習得した方法について「自分の言葉でまとめる」活動があり、自分の学習を形にすることができる。 ・学んだ内容や習得した方法を、他の教材や学習、読書、日常での活用することを促す表記も添えられており、主体的な学習への導きとなっている。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
	<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集や発信、話し合いの方法など、実践的な内容が具体的にまとめられている。 ・全学年「話すこと・聞くこと」の最初に「グループディスカッション」が設けられ、話し合いを効果的にするための「こつ」が系統的に示されている。
その他	＜資料の構成・配列や表記・表現＞	
	<p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の手順の提示、簡潔な解説と視覚的に捉えるためのわかりやすい図版・見やすい図版の配置、識別しにくい配色の回避等で、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・中学生でもテレビ等で目にする著名人による文章や、広く知られる歌謡曲の歌詞等、身近に感じるような題材が掲載されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるにつれて文章の内容が社会的・現実的なものになり、表現も難しくなる。 ・「資料編」に、学習を効果的に進めるための知識や他教科の学習及び日常生活で役立つ知識が項目ごとにまとめられており、学習を補うことが可能である。 	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 国語 】

<p>書名 項目</p>	<p>伝え合う言葉 中学国語</p>		<p>17 教育出版</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の扉に、日本語を学ぶ意欲喚起を促す「言葉」にまつわる加藤周一の文章が掲載されている。 ・「メディアと表現」では、身近なテレビのニュースや広告、アニメーションなどの画像を取り上げ、写真の使い方や、漫画独自の表現方法などを捉える活動が設定されている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に配置された「学びナビ」の「読みの扉を開く」「こう読み深めよう」は、表現技法や文章構成工夫について、ポイントを1つに絞って具体的に示されており、単元ごとに着眼点を持って活動に入るように構成されている。（「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習でも、同様に「学びナビ」が設けられている） ・教材毎の「みちしるべ」では、「内容を読み深めよう」「自分の考えを伝え合おう」という活動が設定されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文において「学びナビ」の「こう読み深めよう」の最後に、《本文を読んで、キーワードを抜き出してみよう》という本文全体を把握する穴埋めの問題が掲載されている。 ・「みちしるべ」では、詩歌の単元の後には豊かな言葉の学びを広げるようなコラムが、芥川龍之介や、夏目漱石、森鷗外などの文豪作品の後には「解説」が設けられている。 ・全学年でメディア、日本の伝統文化を扱った文章が掲載されている他、各学年で子どもの権利やAIを扱った論説文など、身近な生活につなげて考えられる文章が多く掲載されている。 	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDGs」の視点に立った単元が組み込まれており、「持続可能な未来を創るために」考える教材が全学年に設定されている。 ・「メディアと表現」といった、言語活動や情報活用の手法を学んでから、表現活動をするという内容が複数取り入れられている。 		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードで学びを広げられるようになっている。 ・「学びのチャレンジ」や「折込」「言葉の自習室」など、自主学习資料が多く掲載されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」以外の教材において、多くの漢字にルビが振ってある。 ・文章量の少ないものから多いものまで、読みもの教材が多く掲載されている。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 国語 】

<p>書名 項目</p>	<p>国語</p>	<p>38 光村図書出版</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程が、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」・「書くこと」の2種類について、それぞれ決まった形式で示され、各教材の最後の「学習」で、見通せるようになっている。 ・各教材の学習過程が巻頭で、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」に基づいて一覧表にまとめられ、1年間の流れ、身につけるべき力が見通せるようになっている。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「思考の地図」として、「広げる」「整理する」「深める」の各過程で、思考法（考え方）が示されている。 ・各教材の最後の「学習の窓」では、各言語活動の汎用的なポイントが示され、巻末で一覧にしている。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の最後には「振り返る」で、理解したことを言語化させたり、他の場面で活用させたりする問いを設けている。 ・巻末に3領域ごと「学習を振り返ろう」が設定され、「確認」「設問」を通して、「何ができるようになったか」が自覚できるようになっている。「学習を振り返ろう」には「つなぐ」として、発展させる課題も示され、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、「日常生活」「学校生活」「将来」の3つの場面について生かし方が示されている。 ・「達人からの一言」や「私の一冊」として、俳優、スポーツ選手といった身近な人物からのコメントが取り上げられている。
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>	
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・新設された「情報の扱い方に関する事項」に特化し、「情報整理のレッスン」、「思考のレッスン」（情報と情報の関係）を設定している。取り上げられた内容は、巻末で、「読むこと」（説明的文章）、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」と関連付けて一覧にしている。 ・3学年を通して「情報社会を生きる」という特設単元が設定され、集め方、読み取り方、引用の仕方等、情報の活用方法が示されている。 	
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域ごとに色・記号を用い、分類している。 ・主となる説明の他、吹き出しを用い、話し言葉で説明を加えている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年では、最初の単元の前に「小学校から中学校へ」として、学び方について学習できるようになっている。 ・各教材の「学習の窓」では、インデックスのデザインを用い、既習事項が振り返れるようになっている。学習のポイントは、巻頭・教材・巻末と繰り返し示されている。 	

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

書名 項目	新しい書写	2 東京書籍
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・写真図画、イラストやキャラクターによる導入を用いて、意欲的に取り組む工夫をしている。 ・单元ごとに「書写のかぎ」を置き、①学習のねらい②見つけよう③確かめよう④生かそう⑤振り返って話そう⑥生活に広げようと一連の流れがあり、学習のねらいと流れが明確化・焦点化されている。 ・巻頭の「書写で学ぶこと」により、「なぜ学ぶのか」から始まり、生徒が書写に抱く疑問や整った文字を書きたいという意欲に答え、書写の学びを将来どのように活用したらよいかの場面を示している。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・高校書道への接続として、書の鑑賞や高校生の活躍を紹介して興味関心を高めている。
	○「達成感」 ・单元や題材など内容や時間のまとまりを見通した单元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「学習の進め方」が①見つけよう②確かめよう③生かそうという流れで構成され、課題を見つけた後に「書写のかぎ」でねらいを焦点化し、学ぶことを明確にしてから取り組ませる仕組みになっている。キャラクターのセリフによる解説で、課題をより詳しく説明して意識させている。 ・各单元に「振り返って話そう」という言語活動によって学習を振り返り学んだことを深めている。 ・活用单元「生活にひろげよう」において、手紙や新聞、リーフレット、ポスターなど、国語をはじめ他教科に連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる教材が取り上げられている。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・他教科の学習と連動している单元・教材に教科関連マークをつけて意識づけしている。 ・手紙や新聞、リーフレット、ポスターなど、国語連動させた言語活動、職場訪問新聞、レポートなど教科授業の補助的使用により生活に活用できる教材が取り上げられている。 ・小学校の学習を振り返り、字形と配列を整える書き方や基本の点画の書き方をチェックして、知識・技能の定着を確認できるようになっている。
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の文字と学習ポイントを同時に見られるよう A B 判型の大きさの教科書サイズ。毛筆教材のページが半紙の縦横比率に合わせてあり、配列を参考にしやすい。 ・二十四節気と時候の挨拶が行書で書かれ一覧表でまとめられている。 ・「生活に広げよう」という硬筆の教材を設定し、楷書や行書の特徴を生かして効果的に伝える方法を考えながら取り組める課題がある。 ・教科書上の二次元コードからインターネットを活用した学習ができ、ナレーション・テロップで解説を入れた運筆動画が見られ、ICT活用の指導により、学習が効率的に進められる。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字一覧は縦横に記号を振って見やすくしている。 ・利き手に影響しないよう、手本は上、試し書きは下に枠が用意されている。 	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

<p>書名 項目</p>	<p>現代の書写</p>	<p>15 三省堂</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・書きぞめや詩の手本が知名度のある人物の作品を引用している。 ・「どこに気をつけて、どのように書けばよいか」書き方の課題を10種類あげ、見開き2ページに付きポイントを字形の特徴ごとに1つに絞って取り組み、ねらいを意識して学習を進められる。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校書道への接続として、文字の歴史や古典を設定し、篆刻や臨書などを紹介している。 ・古典の優れた筆跡を人物別に紹介し、その作品の違いを比較できることで書への関心が広がるように工夫されている。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の流れ」が、①目標を確かめよう②書き方を学ぼう③見つけよう・考えよう④毛筆で書こう⑤振り返ろう⑥書いて身につけよう⑦自分の言葉でまとめようで構成され、学習のねらいと流れが明確化・焦点化されている。 ・学習の最後に「書いて身につけよう」で毛筆で学習した文字を硬筆で繰り返し書いて習得し（書き込み欄）、「自分の言葉でまとめよう」で学習を振り返り、日常の文字を整える活動に生かしている。 ・活版印刷の新聞、歴史上の人物の手紙の書体を比較し、生活の中で多種多様な字体が使用されていることを示している。
<p>その他</p>	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>	
	<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことを生かして、複数で話し合いながら作成する「グループ新聞」の作成、グループで「情報誌」を作る活動、言葉を集めて名言集を作る活動などの言語活動で学習を深められる。 ・日常の書式の資料の中に、のし袋や願書の書き方等、生活の中で役立つ書写活動を紹介している。 ・「書いて身につけよう」では、仮名の字形や文字の大きさ、楷書と調和する仮名を意識して考えながら、縦書き横書き、アルファベットなど多様な課題に取り組むことができる。
<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p>		
<p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の外形や部分の組み立てが色分けされていて、形を意識しやすい。 ・筆の運び方や筆圧が朱墨の濃淡と穂先のコメントで示している。 ・文房七宝や筆記用具の特徴が写真とともに紹介されている。 ・手紙や葉書、包み紙、送り状、教科名、都道府県等取り上げ、また、言語活動において国語と連動させている。 ・（新聞や情報誌の作成等）の教科授業の補助的使用により生活に活用できる教材が取り上げられている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの視点で、配置がすっきりしていて文字も少なく、読みやすい。 ・二次元コードを読み取り、書くときの姿勢や手本の文字の筆の運び方を動画で閲覧することができる。 ・巻末の資料では、楷書・行書の書き方の要点をまとめた資料が一覧できるようになっている。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

<p>書名 項目</p>	<p>中学書写</p>		<p>17 教育出版</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に掲載されている身近な古典作品を取り上げている。 ・学習のねらいが学年ごとに明記され、何を学び、どんな力を身に付ければ良いのかを課題を意識して取り組めるように構成されている。 ・考える手立てを整理し、課題解決の手助けをしている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに最後の章で「学習を生かして書く」が設定され、学習した内容を定着させられるようになっている。 ・高校書道への接続として、巻末に仮名や紙の歴史を紹介している。 ・巻末には毛筆で学習した内容を硬筆で生かし、楷書と仮名を調和させながら、伝達効果を考えて書く複数の題材に取り組める。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の仕方」が、①考えよう②生かそう③振り返ろうの3段階の流れで構成されている。 ・学習内容を「試し書き」では、中心を整えて書き、「まとめ書きや応用」では繰り返し練習するよう構成されている。 ・学習の過程は写真を用いて説明している。 ・「振り返ろう」では、学習目標が達成できたか「○=できた △=もう少し」を選び、段階を自己評価できるようになっている。 ・見開きで「書写テスト」があり、3年間で学習した内容を自分で確認できるようになっている。 ・「生活に生かそう」では、行書や仮名を調和させた色紙や寄せ書きを取り上げるなど、日常生活に生きてはたらく書写力を育成する題材で構成されている。 	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動を通じた学びの場面では、話し合いで使用する書写の学習用語を意識して使えるようにポイントを明記している。 ・「情報を整理して活動をつなげよう」では、様々な活動で情報の整理方法を説明している。 		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインなどの工夫により、学びやすい紙面づくりに配慮している。 ・コラムでは、歴史上の人物の文字や全国の石碑などを写真で示している。 ・筆順に番号が振られ筆脈や点画の連続を意識して書けるようになっている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「試し書き」では、なぞり書きだけでなく、枠の中に中心線を設置し、書く目安を設定している。 ・「考えよう」の手本の横には、中心線、書き順、文字の大きさの目安が示されている。 ・巻末に学習漢字一覧があり、部首番号、配列順、索引が設けられている。 		

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等） 【書写】

書名 項目	中学書写	38 光村図書出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の導入では点や画を分解し、あらゆる文字に応用できる工夫がある。毛筆の導入では、「楷書」「行書」の書く速さを比べ、早く読みやすい行書を書きたいと思う工夫がある。 ・古典作品をはじめ、教科書の教材、著名作品の冒頭などが例文にあげられ学習意欲を高めている。 ・見開き簡潔型で、「学習の進め方」が提示され、主体的に学習できる姿勢を促している。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で習得した技能を、硬筆でもう一度書く「振り返り」によって、日常で書く文字を整える方法を意識して取り組むことができる。 ・「学習の窓」で学習内容の要点がまとめられ、活動の支えとなっている。 ・キャラクターを用いて「文字の特徴」を示している。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」が①考えよう②確かめよう③生かそうの順で構成され、「何を学ぶか」を自ら考えて課題を見つけ、点画の種類と書き方を確かめ、相互評価による言語活動で学習を深める取り組みとなっている。 ・単元ごとの「学習を振り返る」ではチェックマークをつけ、めあてとなる学習内容の確認ができ、3年間の学習内容や学習した頁数を見開きで提示している。 ・書写ブックにて書写テストを設定し、3年間の学習内容を自分で確認できる工夫がある。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日常に役立つ書式」では、生活に役立つ書写活動を紹介している。 ・文字や書体の使い分けが書かれており、相手や目的に応じて文字を変化させる必要性を投げかけている。 ・「国語 壁新聞を作ろう」では、学習の進め方が設定され、読みやすさを意識して情報をより多くの人に届けられるように明記されている。 ・各学年の学習が「やってみよう」、「コラム」、「学校生活」の流れで掲載され、文字の書き方（技能）を習得してから「コラム」により文字文化への理解を深め、手書きの文字のよさを生活に役立たせる資料を写真や図を用いて紹介する仕組みとなっている。 	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現>	
	<p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の筆遣いを、始筆『トン』送筆『スー』終筆『トン』、毛筆の筆圧と線の太さを『3の力』『2の力』『1の力』と表記し運筆のリズムを生徒にわかりやすく実践できるよう説明している。 ・身近な本の帯、一筆箋の写真を用いて、日常生活で使えて行書の良さを示している。 ・「常用漢字一覧表」「人名用漢字表」「部首別行書一覧」は楷書体と行書体が併記してある。 ・高校書道への導入として、書聖の書を紹介している。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切り離して使用できる書写ブック（資料）により、小中連携の視点での授業づくりや行書の書き方を徹底練習するページがあり、学びの定着や技能を習得し、活用する支援がされている。 ・ユニバーサルデザインの字体を用い、学習課題やタイトルが端的な言葉で大きく提示されている。 ・二次元コードを用いて、手本の文字の運筆を動画で見られるようになっている。 	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（地理的分野）】

書名 項目	新しい社会 地理		2 東京書籍
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・編や章のはじめに「小学校で習ったことば」や写真資料を示し意欲を高めるよう構成されている。また節ごとに大きく写真やイラスト地図が提示され興味関心を高めるように構成されている。 ・見開きごとに学習課題を提示し、学習内容に関連する写真を大きく掲載している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「データーチャート」や「イメージマップ」などの思考ツールが掲載され、思考の整理が出来るようになっている。 ・「もっと地理」「資料から発見」で、本文の学習内容を異なる視点で捉え、考察できるよう工夫している。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は295ページ。115時間。予備5時間 ・単元を貫く問いである「探究課題」、1単位時間の学習課題を解決していく「学習課題」、探究課題の解決をする「探究ステップ」という単元のまとまりで構成されている。 ・見開きごとに学習内容の基礎的な確認をする「チェック」と要約や短文でまとめ言語表現する「トライ」が設けられている。 ・章の最後に学習内容の基礎基本を確認するまとめの活動が設定されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・他教科との関わりが深い学習内容では「教科関連マーク」がつけられており、どの教科との関連が深いかすぐに確認できるようになっている。 ・「みんなでチャレンジ」を設け、小集団での対話的活動によって多様な意見に触れられるようになっている。 ・二次元コードを使用しインターネットを利用した学習が行えるようになっている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・写真や地図などの資料を大きく示し、本文と資料掲載部分の色を変え区別されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・タイトルや小見出しは生徒が見やすいよう「フラットデザイン」を使用し、全体を通して「UDフォント」が使われ、より見やすいふりがなの文字で統一されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（地理的分野）】

書名 項目	中学社会 地理 地域にまなぶ		17 教育出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・章のはじめに小学校で学習した内容を振り返り、学習内容を提示することで興味関心を高め、各章の見通しをもたせている。 ・見開きごとに学習のめあてとなる学習課題を提示し、「LOOK」によって導入資料の補足や本文との接続をスムーズにできるよう工夫している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・章や節の最後に「意見を交換しよう」という課題を設け生徒が学習内容を活かして対話的な活動が出来るよう構成されている。 ・思考を深めるため、54箇所コラム「地理の窓」を設け、本文の内容から一歩進んだ内容を掲載している。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は296ページ。115時間。 ・見開きごとに基礎基本の確認・整理を行う「確認」と課題に関わる説明や対話的な活動を行う「表現」を設け、段階的に取り組めるように構成している。 ・章や節ごとに「学習のまとめと表現」のページが設けられ、学習内容の振り返りを自分なりの説明でまとめられるようにしている。 ・学習課題にして「読み解こう」を設け、学習内容について資料活用や思考力を高めることが出来るようにしている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・2次元コードを使用しインターネットで学習に役立つ様々な情報を得ることが出来る。 ・地図やグラフなどの基本的な資料活用の技能を学ぶための「地理の技」を8箇所設定している。 ・脚注に歴史、公民との関連を示すマークを設けている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・資料は見開きごとに番号がつけられ、本文との関連箇所がわかるようになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文の中で用語解説に関連する言葉にページ数が書かれ参照できるようになっている。 ・カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用している。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（地理的分野）】

書名 項目	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46 帝国書院
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各節ごとに写真やイラスト地図などのその地域の特色がイメージできるような資料を見開きで大きく使い、興味関心を持たせている。 ・「章の問い」「節の問い」「学習課題」を提示し、それぞれの学習の見通しをもたせている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「学習をふりかえろう」を設定し、章や節の終わりに地理的な見方考え方を活用して、学習内容や自分の考えをまとめる課題が設定されている。 ・学習内容に関連した事例を37箇所て提示し、より深く学習内容を理解できるようにしている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は300ページ。108時間。予備7時間 ・1単位時間の中で「学習計画」「確認しよう」「説明しよう」というまとまりで構成されている。 ・章や節ごとに学習内容の確認、自分の言葉で説明、これからの社会に向けて考える、3つのステップでまとめが出来るよう工夫している。 ・18箇所のコラムで学習内容に関連する人々の姿をとりあげ、学習をより身近なものと感じることが出来るよう工夫している。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・2次元コードの利用で教科書に掲載している資料の一部をパソコンなどで閲覧できるようにしている。 ・コラム「未来に向けて」の25箇所すべてが持続可能な開発目標に関連している。 ・資料活用の技能を身につけるコラム「技能をみがく」が23箇所掲載されている。
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・世界の諸地域や日本の諸地域の学習では地域ごとにその地域を代表する場所の写真が掲載され、地図上で探せるようになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文に出てくる重要語句を太字にしている。本文の関連する言葉にページ数が書かれ参照できるようになっている。資料は見開きごとに番号がつけられ、本文関連箇所がわかるようになっている。すべての生徒が見やすいようUDフォントを使用している。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（地理的分野）】

書名 項目	中学社会 地理的分野		116 日本文教出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各編のはじめにその地域をイメージできる写真やイラスト地図を提示し、クイズによる活動を設定して興味関心を高め、学習主題を焦点化し見通しをもたせている。 ・見開きごとに「学習課題」を提示し、「見方・考え方」で、どのようなことに着目して学習を進めるのか明確にする工夫をしている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・13箇所の「自由研究」や16箇所の「地理+α」で学習内容に関連する話題を取り上げ、学習の理解を深めるようにしている。 ・「チャレンジ地理」でその節の学習内容をもとに自ら考え、対話的な活動によって思考力を育成するようになっている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は285ページ。103時間。予備12時間 ・見開きごとに本時の学習内容を振り返ることができるように「確認」が設定されている。 ・各章や各節ごとに「ふりかえり」「まとめ」が設定され、学習内容の確認ができるようになっている。 ・各節の最後に「アクティビティ」が設けられ、学んだことを社会に生かす力を育成できるようになっている。 ・巻頭で地理的な見方・考え方とはどのようなものかイラストや問いを用いて解説し、これからの学習に必要な地理学習の手立てが身に付けられるようにしている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・2次元コードを使いICTデジタル資料を利用した学習をすることができる。 ・脚注に連携コーナーを設け、本文の内容に関連する学年や分野を分かるようにしている。 ・「スキルアップ」のコーナーを設け、学習に必要な基本的技能を身につけられるようにしている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・写真やグラフ、地図などの資料タイトルの先頭にわかりやすいよう矢印をつけている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文中の重要語句を太字にしている。本文中で用語解説に関連する言葉にページ数が書かれ参照できるようになっている。ユニバーサルデザインに配慮したフォント使用している。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会(歴史的分野)】

書名 項目	新しい社会 歴史		2 東京書籍
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各章の導入部では、小学校の学習を振り返りながら探究課題を立てることで興味関心を高め、まとめの活動を予告することで、単元の見通しを持たせている。 ・1単位時間の学習では、写真資料を大きく掲載する工夫が見られ、また学習のめあてとなる「学習課題」を提示している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・各節の学習の最後に、生徒自身が探求課題を主体的に解決するヒントや見方・考え方を活用した探究課題の解決を促すコーナーを設けている。 ・思考の整理に適した「くらげチャート」「ランキング」等の思考ツールが掲載されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は294ページ。130時間。予備5時間。 ・「課題をつかむ」「課題を探究する」「課題を解決する」という単元のまとまりを軸に構成されている。 ・1単位時間の学習の中で基礎基本を確認する「チェック」と要約や説明をする言語活動の「トライ」が設けられている。 ・各章の終わりには、学習内容を整理しながら時代の特色等を考えられる「まとめの活動」が設けられている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「環境・エネルギー」「持続可能な開発目標」等、現代的な諸課題を取り上げ、それらについて具体的に考え、解決していこうという態度を育てる工夫がされている。 ・他教科や地理・公民と関連があるページには、二次元コードやインターネットを使って関連する内容を見ることができるようになっている。 ・資料を読み取りながら対話的な活動ができる「みんなでチャレンジ」を設けている。 ・情報を「集める」「読み取る」「まとめる」コーナーを設けている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・復元写真や想像図、実物大の写真等、生徒が具体的なイメージを持って学習できるよう工夫されている。さらに、資料掲載部分に色づけをして本文部分との区別がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全ての生徒が使いやすいよう「フラットデザイン」「UDフォント」を使用し、平易な文章やより見やすいふりがなの文字で統一されている。		

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会(歴史的分野)】

書名 項目	中学社会 歴史 未来をひらく	17 教育出版
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・章の導入部では、学習内容がイメージできるような資料を中心に、単元への興味・関心や見通しを持たせている。 ・1 単位時間の学習では、象徴的な言葉を使ったタイトルを使う工夫が見られ、また学びの見通しをもてるよう「学習課題」を提示している。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・本文で学習した内容について、多面的・多角的に考え、課題の解決を促す「歴史の窓」と言うコラムを19箇所設けている。 ・章の終わりに、思考を深めるため年表や地図にまとめる作業ができるようになっている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は298ページ。135時間。 ・導入ページ「学習を始めよう」、本時の「学習課題」、特設ページ「歴史を探ろう」、表現ページ「学習のまとめと表現」という構成となっている。 ・1 単位時間の学習の中で「確認／表現」という振り返り欄を設けている。 ・各章の終わりには、年表や地図にまとめる作業「学習のまとめと表現」が設けられている。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「持続可能な開発目標」の17の目標を示し、歴史で学んだことを現代の視点から捉え直して、生徒がこれから生きていく社会について考察していこうという態度を育てる工夫がされている。 ・特設ページの脚注部に、地理・公民との関連を示す「関連マーク」を付し、学習の連携や振り返りができるようになっている。 ・集団で表現し合う活動ができる「学習のまとめと表現」を設けている。 ・「読み解こう」では、資料を読み解く視点を示しており、「問い」の形で17箇所設けている。	
その他	＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・絵や写真、新聞、地図や系図など、歴史学習の中で活用する機会の多い資料について、資料活用の方法や手順を示している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全ての生徒が使いやすいよう「カラーユニバーサルデザイン」を使用し、第三者機関CUDOの認証を受けており、平易な文章で統一されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会(歴史的分野)】

<p>書名 項目</p>	<p>社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き</p>	<p>46 帝国書院</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>	
	<p>○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・節の冒頭に、大きなイラストから各時代を概観する「タイムトラベル」を設け、時代のイメージを持って視覚的に捉えるようになっている。生徒の興味・関心を高められるようにマンガ形式を活用している。 ・「章の問い」「節の問い」「学習課題」を示し、学習の見通しを持たせている。</p>
	<p>○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・各章の終わりに、歴史的な見方・考え方を活用した自分の考えを整理しまとめるコーナーを設けている。 ・本文ページと関連した歴史的な事象をテーマに、異なる意見や資料を通して論点を整理し、考察し、話し合うというように段階的な思考ができるようになっている。</p>
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・教科書の総ページ数は292ページ。127時間。予備8時間。 ・章、節ごとの単元を貫く「問い」やそれに対する振り返りの学習が構造化され、見通し・振り返りに基づいた学習ができるようになっている。 ・1単位時間の学習の中で「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」で掘んだ学習内容の積み重ねができるようになっている。 ・各章の終わりには、学習内容を整理しながら時代の特色等を三段階で考えられる「章の学習を振り返ろう」が設けられている。</p>
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>	
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・環境・交流、人権、平和の観点で43箇所コラムがあり「持続可能な開発目標」に関する項目にはマークが付され、それらについて具体的に考え、解決していこうという態度を育てる工夫がされている。 ・他教科や地理・公民と関連があるページには、二次元コードから127のコンテンツにアクセスできるようになっている。 ・43カ所のコラム「未来に向けて」や異なる考えや対立する考えを併記することで、対話的な活動ができるようになっている。 ・「技能をみがく」コーナーが12箇所あり、資料読解や聞き取りからの情報収集ができるようになっている。</p>	
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・写真や図表などが大判で掲載されている。また、「人物コラム」のコーナーが側注に49人分あり、歴史により親しみをもてるようになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全ての生徒が使いやすいよう「UDフォント」を使用し、文体は「です・ます」調で統一されている。</p>	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会科（歴史的分野）】

書名 項目	中学歴史 日本と世界		81 山川出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・章の導入部では、学習内容がイメージできるような資料や年表を掲載し、単元の見通しを持たせている。 ・1単位時間の学習では、学習のめあてとなる「学習課題」を1～2つ掲示している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・章の終わりに、思考を深めるために比較したり、思ったことや感じたことなどをまとめたりする活動を設けている。 ・特設ページ「歴史を考えよう」「歴史へのアプローチ」では、美術作品や地図などを参考に、描かれているものやその理由などを考えながら、時代背景に迫れるよう工夫している。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は288ページ。132時間。予備3時間。 ・「学習課題」「本文」「ステップアップ」という単元のまとまりを軸に構成されている。 ・1単位時間の学習の中で学習した内容を自分の言葉でまとめる振り返り欄「ステップアップ」を設けている。 ・各章の終わりには、時代の変化や政治、経済、文化等の特色をまとめる「まとめ」が設けられている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・博物館や資料館にある資料については、二次元コードを使ってホームページや動画を見たり、音声を聞いたりすることができるようになっている。 ・本文中の資料や写真において、考えを深めるための発問が設けられている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・絵や写真、新聞、地図や系図など、さまざまな資料を掲載し、図版や史料には番号を付し、本文と関連づけている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全ての生徒が使いやすいUDフォントを使用し、地図・グラフなどは「カラーユニバーサルデザイン」に配慮して掲載している。 ・固有名詞、歴史用語にはすべてふりがなを付して、文体は常体で統一されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会(歴史的分野)】

書名 項目	中学歴史 歴史的分野		116 日本文教出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	○各時代の学習では、大きな資料から「めあて」を示し、それを年表（時間軸）と世界地図（空間軸）を使って概観するなど意欲・関心を高めるよう構成されている。 ○1単位時間の学習では、写真資料を大きく掲載する工夫が見られ、また学習のめあてとなる「学習課題」を提示している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	○学習課題の解決に向けて手がかりになる「見方・考え方」の例を示し、「深めよう」で見方・考え方を働かせる問いを示している。 ○側注欄には、学習課題に対応した「確認」が設けてあり、学習内容の理解を確かにする問いを示している。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	○教科書の総ページ数は316ページ。115時間。予備20時間。 ○「導入」「本文」「チャレンジ歴史」「学習の整理と活用」という単元のまとまりを軸に構成されている。 ○1単位時間の学習の中で基本的な用語について解説された「基本用語」が設けられている。 ○各章の終わりには、まとめとして「アクティビティ」が設けられており、めあてに対する学びの成果を確認できるようになっている。 ○「歴史との対話を未来に活かす」「先人に学ぶ」などの特設ページやコラムを設置し、諸課題について具体的に考え、解決していこうという態度を育てる工夫がされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	○他教科や地理・公民と関連があるページには、「連携コーナー」が設けられ確認、活用することができるようになっている。 ○「チャレンジ歴史」では、自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さが体験できるよう工夫されている。 ○情報を収集する、読み取る、まとめる技能の習得のために「スキルアップ」で解説している。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・写真等の図版を大きく示し、左右のスペースにグラフや様々な資料を掲載して、生徒が本文の内容が補完できるようにになっている。また、図版タイトルの先頭にわかりやすい矢印を付している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全ての生徒が使いやすいよう「カラーユニバーサルデザイン」「UDフォント」を使用し、重要語句にはすべてふりがなをつけている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会科（歴史的分野）】

書名 項目	[最新] 新しい日本の歴史		227 育鵬社
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・章の導入部には、歴史の流れを大観できるような資料やイラストを掲載した「歴史絵巻」があり、単元の見通しを持たせている。 ・1単位時間の学習では、学習のめあてとなる「課題」を掲示している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・見開き冒頭の導入資料には、生徒に読み取る視点を提示するフキダシを設けている。 ・特設ページ「歴史ズームイン」「歴史ビュー」「人物クローズアップ」「歴史のターニングポイント」を設け、学習内容の理解を深めたり、多面的・多角的に考える視点を掲示したりしている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は294ページ。130時間。予備5時間。 ・見開き冒頭の導入資料、「課題」「本文」「学習のまとめ」という単元のまとまりを軸に構成されている。 ・1単位時間の学習の中で学習した内容を自分の言葉でまとめる「学習のまとめ」を設けている。 ・各章の終わりには、年表形式で各時代の代表的なできごとや人々の暮らし、文化の様子などの特色をまとめる「学習のまとめ」を設けている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・特設ページ「『私の歴史博物館』をデザインしてみよう」では、生徒自身が歴史博物館の学芸員になったつもりで展示方法を考えることで、各時代の特色を深くとらえることができる工夫をしている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・絵や写真、新聞、地図や系図など、さまざまな資料を掲載し、図版や史料には番号を付し、本文と関連づけている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全ての生徒が使いやすいよう色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫をしている。 ・重要語句、重要人物は、本文・索引ともに太字のゴシック体を使用している。		

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会科（歴史的分野）】

書名 項目	ともに学ぶ人間の歴史	2 2 9 学び舎
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・部の冒頭には、大きな時代を見渡した学習課題を設け、単元全体の見通しを持たせている。 ・章の導入部では、「章の扉」を設け、時代の各地の様子を表す写真や絵を配置して、生徒の興味・関心を引き出す工夫をしている。 ・1 単位時間の学習では、学習のめあてとなる課題を 1～2 つ掲示している。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・章の終わりには、歴史的事象をさまざまに関連付けたり、意見を交換したりして、考えを深められるような課題を設定した「章を振り返る」が設けられている。 ・特設ページ「歴史を体験する」を設け、資料をもとに感じたこと、思ったことをまとめる活動を設定している。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の総ページ数は 2 9 9 ページ。1 2 7 時間。予備 3 時間。 ・章の導入、1 単位時間の学習課題、本文という単元のまとまりで構成されている。 ・章の終わりには、空欄補充の形で学習した内容を振り返る活動が設けられている。 ・各部の終わりには、前の時代と比べながら、時代の特色をまとめる活動が設けられている。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
	<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・章の終わりには、絵画から人々の声を想像したりインタビュー記事を作ったりする取り組みが設定されている。 ・章の終わりや、特設ページ「歴史を体験する」では、授業をもとに考察したりまとめたりした内容を、グループなどで交換する学習が設けられている。
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きの上部に歴史の場面や出来事を示す絵や写真等の資料が大きく掲載されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒が使いやすいよう歴史地図・グラフに「カラーユニバーサルデザイン」を採用し、色覚特性の個人差に配慮している。 ・A 4 判を採用している。文字の太さも統一している。 	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会(公民的分野)】

書名 項目	新しい社会 公民		2 東京書籍
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・全ての節の最初に「探究のステップ」を設定し、生徒が見通しをもって学習できるように工夫している。 ・1時間の授業を見開き2ページで構成し、本時の学習課題を明確に提示している。さらに、それに準ずる資料（主に写真やグラフ等）を掲載している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・各節の学習の最後に、生徒自身が探求課題を主体的に解決するヒントや見方・考え方を活用した探究課題の解決を促すコーナーがある。 ・思考の整理に適した「ダイヤモンドランキング」「くらげチャート」等の思考ツールが掲載されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は255ページ。95時間。予備5時間。 ・「課題をつかむ」「課題を探究する」「課題を解決する」という単元のまとまりを軸に構成されている。 ・1単位時間の学習の中で基礎基本を確認する「チェック」と要約や説明をする言語活動の「トライ」が設けられている。 ・各章に終わりでは、「探究のステップの問いを解決しよう」のコーナーが設けられ、見通しをもった学習とまとめを行えるようになっている。さらに、「基礎基本のまとめ」では、重要語句の確認ができるスペースが設けられている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・ICT(情報通信技術)を活用した学習を用いることができるように、2次元コードが掲載されている。 ・他教科との関連マークが付けられ、横断的な学習ができるよう工夫がされている。 ・「みんなでチャレンジ」では、既習事項をもとに意見交換をし、考えを深められるようになっている。(全21種)	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・資料には見開きごとに通し番号を付け、対応する本文の上にも図番号を付けることで、生徒に分かりやすいよう工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全ての生徒が使いやすいよう、「フラットデザイン」「UDフォント」を使用し、平易な文章やより見やすいふりがなの文字で統一されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会(公民的分野)】

書名 項目	中学社会 公民 ともに生きる		17 教育出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるよ うなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通 し」の工夫	・章の最初にイラスト漫画等でわかりやすく内容の説明がされ、見通しを持った全体の学習課題が書かれている。 ・見開きで構成された本文ページでは、冒頭に学習課題があり、本時のねらいを明確にした内容が書かれている。また、「LOOK!」が導入資料の解説補助的な役割を果たし、生徒の自主学習にも役立つようになっている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深め る工夫	・章のおわりに、思考を深めるため、学んだことを自分の言葉でまとめられるスペースが設定されている。 ・本文で学習した内容について、多面的・多角的に考え、課題の解決を促す「公民の窓」が38箇所設けてある。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時 間のまとまりを見通した単 元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する 「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊 かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は264ページ。100時間。 ・「学習のはじめに」「学習課題」「読んで深く考えよう」「学習のまとめと表現」という単元のまとめになっている。 ・1単位時間の学習の中で、「確認！表現！」が設けられ、本時の既習事項をもとに、自分の言葉でまとめることができるようになっている。 ・「言葉で伝え合おう／ディベート」は、学んだことを参考に して、自分の意見を持ち、対峙して考えを深めることができ るようになっている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・掲載されている2次元コードにアクセスすると、関連するウェブ サイトを見ることができ、生徒の自主学習をサポートする形 になっている。（全6テーマ） ・見開きの右下部分にSDGsとの関連が示され、他教科とも関連し て「持続可能な未来」を意識した学習ができる工夫がされてい る。 ・地理・歴史との関連を示す「関連マーク」を付し、学習の連携 や振り返りができるようになっている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・資料には見開きごとに通し番号を付け、対応する本文の上にも図番号を付けることで、生徒に分 かりやすいよう工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全ての生徒が扱いやすいよう「カラーユニバーサルデザイン」を使用し、第三者機関 CUDO の認 証を受けており、平易な文章で統一されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会(公民的分野)】

書名 項目	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	46 帝国書院
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各章の「学習の前に」では、イラストを見ながら活動するアクティブラーニングが設けられており、さらに見開きページの冒頭には写真やその他資料があり、この資料がどのような関連があるのか「資料活用」で手引きをしている。 ・章・節・各本文ページそれぞれの冒頭では、学習する内容を問形式で示しており(章の問い、節の問い、学習課題)、生徒が学習の見通しを持てるように工夫している。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・章末の「アクティブ公民」では、既習事項をもとに話し合い活動でき、現代社会が直面している課題に主体的に考えられる工夫がされている。 ・「YES/NO」コーナーを設け、様々な立場の考え方に触れられるようになっている。(基本的人権、裁判制度など)
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は235ページ。97時間。予備3時間。 ○章や節を貫く「問い」やそれらに対する振り返りの学習が構造化され、見通し・振り返りに基づいた学習ができるようになっている。 ○1単位時間の学習の中で「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」で掴んだ学習内容の積み重ねができるようになっている。 ○各章のおわりには「章の学習を振り返ろう」があり、知識、思考力、判断力、表現力などの観点から学習のまとめと確実な定着を促すページが設定されている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	○2次元コードの利用で、教科書に掲載している資料の一部を、タブレットパソコンなどで閲覧できるようにしている。 ○地理的分野、歴史的分野との関連も図れるように注釈がつけられている。 ○「技能をみがく」で、資料読解や聞き取りからの情報収集ができるようになっている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料(挿絵・写真・図表等)の工夫が見られるか。 ・資料には見開きごとに通し番号を付け、対応する本文の上にも図番号を付けることで、生徒に分かりやすいよう工夫されている。内容に応じた適切な資料を使用している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・文体は「です・ます」調で統一され、全ての生徒が使いやすいよう「UDフォント」が使用されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（公民的分野）】

書名 項目	<p style="text-align: center;">中学社会 公民的分野</p>		<p style="text-align: center;">116 日本文教出版</p>
内容	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各編の導入ページを設け、身近な場面から編の学習内容と「見方・考え方」をつかめるよう工夫がされている。 ・1単位時間の学習は、学習のめあてによる「学習課題」を提示し、関連する写真を掲載している。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則1授業時間を見開き2ページとし、学習課題の解決に向けて手がかりとなる「見方・考え方」の例を示し、「深めよう」で見方・考え方を活用した問いが設定されている。 ・側注欄には、学習課題に対応し、学習内容の理解を確かにする「確認」が設けられている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の総ページ数は220ページ。90時間。予備10時間。 ・各章が、導入資料→本文→章のまとめから成り立ち、章末には「チャレンジ公民」、「学習の整理と活用」が設定され、単元のまとめができるよう構成されている。 ・各章の終わりに「アクティビティ」があり、学習内容や知識を使って考えたり自分の言葉でまとめたりする活動が取り入れられている。 ・社会参画を促すページとして、「明日に向かって」を設け、また法教育、主権者教育、消費者教育、キャリア教育など、これからの社会で生徒が自らの人生を切りひらくために必要な教材を用意している。 	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習や地理・歴史とのつながりを示すページには、連携コーナーが設けられている。 ・持続可能な開発目標については、関連する内容を全ての編の学習の随所に登場させ、教科書全体をとおし考えらるよう工夫されている。 ・特別の教科道徳科と関連する教材を採用している。（例）公共の福祉—「自由と責任」 		
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真は、大きく見やすい。また、図表等の区分線を表示し、色に頼らない読み取りができるよう、工夫されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒が使いやすいよう「カラーユニバーサルデザイン」「UDフォント」を使用し、重要語句にはすべてふりがなを付している。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（公民的分野）】

書名 項目	新しい公民教科書		225 自由社
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各単元のめあてが、上部に配置された写真やグラフ、読み物などによって、興味・関心が高まるよう構成されている。 ・全体で72単元となり、単元の番号が教科書全体で連番となっている。一つの単元だけで学習するのではなく、いくつかの単元で重ねて学習するようになっている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・見開きのページごとに「ここがポイント」を設け、単元の要点を示し、内容を理解し、定着させるようになっている。 ・見開きのページの中に、「やってみよう」を多く設け、学習したことをもとに、自分の意見を書いたり、話し合ったりしながら、自分が主体的な考えがもてるよう工夫されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は224ページ。95時間。予備5時間。 ・基礎的・基本的な学習から、単元で学習したことを自分の言葉でまとめるような系統的な反復学習を単元のまとまりとして構成している。 ・各章には「学習のまとめと発展」があり、○△の印をつけることで知識の定着を確認したり、重要語句の意味や、単元で理解した内容を決められた字数の中でまとめる課題が設定され、思考力を高めるような工夫がされている。 ・重要な事柄を深く理解するために「もっと知りたい」のコーナーがあり、現代の社会のつながりに深く関心が持てるよう工夫されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・各章の中に1～2の「アクティブに深めよう」があり、新聞の読み比べや家事方法の進歩など、身近な例から「対立と合意」「公正と公平」に配慮しながら、話し合いをしたり、プレゼンテーションを行ったりするような工夫がされている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「ミニ知識」など読み物の資料が多く掲載されていて、単元の内容をより深く学ぶ工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文中の内容に関わることが側注で補足説明されており、生徒の理解を助けるような工夫がされている。 ・本文に「→P〇〇」や 1 などと書かれ、関連事項がわかるようになっている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（公民的分野）】

書名 項目	[最新] 新しいみんなの公民	227 育鵬社
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・扉で、その章の学習内容を象徴する資料を取り上げ、小学校で学習した内容を紹介している。 ・各章のはじめに「〇〇の入り口」を設定し、その章で学ぶ内容を貫く課題に取り組み、各章のまとめでは、「入り口」で示された課題を受け、その章で学んだ内容を生かした取組ができるよう、単元が構成されている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・見開きのページごとに「鉛筆マーク」のまとめ作業で学習内容を自分の言葉で説明できるよう工夫されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教科書の総ページ数は209ページ。100時間。 ・見開き1時間の学習を「つかむ」→「調べる」→「まとめる」という問題解決型の学習過程をとり、その中で「考え」「判断」したことを自分の言葉でまとめるよう工夫されている。 ・各章の「学習のまとめ」において、重要語句の整理をしながら、学んだことを活用して、自分の言葉で表現したり、人に説明したりする問題が設定されている。 ・身の回りにある、自分の人生や社会のつながりを感じることができる教材を扱い、小集団による話し合いや、ディベート、シミュレーションなどの参加型学習を掲載している。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・最後のまとめとして、中学校3年間の社会科の学習から学んだ知識や技能を用いて、「持続可能な社会の形成」という観点から課題を探究し、レポートにまとめる単元を設定している。仮説の立て方やプレゼンテーションなどの言語活動も掲載し、社会に参画する態度の育成に工夫が見られる。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・図表などは、判別しやすい色の使用や表示の工夫がされている。「やってみよう」などのシミュレーション型の参加体験学習のページにおいて、多様な資料の活用が見られる。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・日本国憲法には、難しい言葉に解説を付している。 ・本文と関連する語句や内容に関し、P.〇〇と参照ページを掲載し、また図や写真については、表記中の項目番号1と参照番号を、本文中に掲載している。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 地図 】

<p>書名 項目</p>	<p>新しい社会 地図</p>		<p>2 東京書籍</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一般図」、グラフ、写真などの資料やテーマ地図による「基本資料」「テーマ資料」の構成により、知識や技能の習得を図り、資料を主題と関連付け学べるよう工夫されている。 ・地理はもちろん、社会科教科書との連携を密に図り、学習内容と関連が深いページや資料には\squareマークを付し、活用場面を明確化し、教科書での活用度を高めるよう工夫をしている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連資料が他のページにある場合、「ジャンプ」マークを参照することで、同テーマの、他の州・地方と考察ができるよう工夫されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳の総ページ数は、192ページ。 ・「一般図」「基本資料」「テーマ資料」の配列により、順を追いながら、興味・関心が見いだせる構成となっている。 ・課題の設定→課題の追究→課題の解決の過程で、一般図、基本資料、テーマ資料、統計資料が、どの段階からも活用できる構成となっている。 ・世界、日本の諸地域の学習展開に沿った活用しやすい資料が扱われ、思考を問うまとめができるよう構成されている。 	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発目標（SDGs）を達成するための諸課題について扱う特集ページを設け、現代社会の諸課題の理解を促し、社会科教科書での学習を進められるよう工夫している。 ・白地図や関連情報を閲覧できるウェブページのリンクを\squareマークで示し、教科書や地図帳での学びをサポートする工夫がある。 		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が今まで目に触れることのない諸外国や、諸地域の写真が豊富に差し込まれ、世界や日本への興味・関心が高まるよう構成されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形や気候、人口といったテーマごとに資料を探せる「資料さくいん」を設け、索引から必要な資料が導き出せるよう工夫されている。 ・全ての生徒が使いやすいようにUDフォントを採用し、ゴシック字体を使用している。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 地図 】

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">中学校社会科地図</p>		<p style="text-align: center;">46 帝国書院</p>
<p style="text-align: center;">内容</p>	<p style="text-align: center;">＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥瞰図は親しみやすいイラストを掲載し、地域を大観することで、一般図での読み取りがしやすいよう構成されている。 ・「一般図」「鳥瞰図」「資料図」の並びで構成されている。それぞれの特性から読み取れることを比較していくことで、その国や地域の特徴をより深く理解できるよう工夫されている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図活用の技能を身に付けるための「地図活用」コーナーが各所に設けられている。地図の読図や比較をとおして、地図からわかることを整理したり、説明できるような力を身に付けられるよう構成されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳の総ページ数は188ページ。 ・資料図は、自然、農業、工業、人口、交通、歴史などのテーマで、地域の特徴をつかめるよう構成され、同縮尺で示すことで分布の特徴や事象の関連性をつかめるよう工夫されている。 ・世界各州の資料中に「日本との結びつき」の資料を掲載し、世界の諸地域を日本の地理的事象との結びつきから捉えることができる構成となっている。 	
	<p style="text-align: center;">＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・38箇所にある二次元コードをタブレットパソコンなどで読み取り、学習を深める資料やクイズなどのコンテンツにつながる工夫がされている。 ・地形から地域の防災を考えられる地図を掲載し、理科や歴史との関連から、自然災害や防災への意識を高める工夫がされている。 		
<p style="text-align: center;">その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の鳥瞰図上に、江戸時代の五街道や航路を示すなど、歴史や修学旅行学習との関連で興味・関心を高められるよう工夫されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳のサイズがA B版からA 4版となり、見やすさや地域の特徴が捉えやすいよう工夫されている。またUDフォントを採用し、誰でも見やすいよう工夫されている。 ・巻頭に地図帳の使い方のページを設け、読図の視点や活用の仕方について説明がある。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【数学】

<p>書名 項目</p>	<p>新しい数学</p>	<p>2 東京書籍</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてや課題を意識できるように「学習課題」や「Q」（考えてみよう、調べてみようなど）が設定されている。 ・「章とびら」では、生徒の関心・意欲を高める日常生活の場面を1コマのイラストと「問いかけ」で提示し、主体的に学習に取り組めるようにされている。 ・「節の導入」では、「問題」や「補助発問」で活動の見通しを示すことで意欲的に取り組めるように工夫されている。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い学びのページ」では、問題解決の過程が側注に示され、生徒が自ら考え、対話を通して数学的活動が取り組めるように構成されている。 ・問題を見だし解決する過程で、生徒が「見方・考え方」を働かせ、主体的に考えるきっかけとなる吹き出しに「虫めがねマーク」をつけるなど、工夫されている。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容のまとまりごとに、生徒が働かせた見方・考え方を振り返り、自分の言葉でまとめる機会が設定されている。 ・巻末では「深い学びのページ」の学習で働かせた見方・考え方がまとめられ、振り返りに活用できるようにされている。 ・「学びをひろげよう」では、社会や職業における数学の活用を取り上げ、数学を学ぶ意義や有用性が実感できるように配慮されている。 ・ノートにまとめる活動や振り返りの記述の例として「数学マイノート」や「レポートにまとめよう」で示されている。 ・「問」には、「例」と似た型の問題に「ダイヤモンドマーク」をつけ、「例」と「問」の段差によるつまずきを解消できるように工夫されている。
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>	
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い学びのページ」などでは、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする場面を設定し、言語活動の充実が図られている。 ・各学年において、「情報を読み取ったりする問題」や「目的に応じてデータを適切に分析する問題」、「プログラミング体験」などが設定されている。 ・問題解決の授業で心掛けるポイントを整理したものが各学年の巻頭にある「大切にしたい学び方」において示されている。 	
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、カットが多用され、色使いも豊富で親しみやすく工夫されている。また、身の回りの具体物の写真も多く、数学と日常生活を結びつけて、学習への興味・関心が高められるように配慮されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章ごとにインデックスがつけられている。ユニバーサルデザインの面では、文字の大きさ、行間など読みやすくわかりやすいように配慮されている。「補充問題」や「章末問題」では習熟度に応じた学習に活動が展開できるように工夫されている。 	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【数学】

書名 項目	数学の世界	4 大日本図書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・「章の導入」では見開きでイラストや写真を提示されている。新しい学習を始めるための「導入の活動」が設定され、生徒の興味・関心を高め、「なぜ?」、「知りたい!」という主体的な気持ちを引き出すように工夫されている。 ・「節の導入」では「考えよう」や「めあて」が示され、生徒が見通しをもって学習活動に取り組めるようになっている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「Q」では、学習した内容をもとにして判断する問題や数学の言葉や図などを使ってまわりの人に考えを伝える問題が設定されており、生徒の思考力・判断力・表現力が育成され、深い学びを実現できるような構成となっている。 ・より上の学年や、高校で必要になる学習内容には「発展」と記載され、これから学ぶ内容との関連性を生徒が意識できるように工夫されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各章において学習内容を「問題を見いだそう」から「深めよう」までの、4つの段階に分けて学習計画が構成されている。これにより、生徒が単元や章のまとまりを意識して学習に取り組めるような構成となっている。 ・「研究をしよう」、「レポートを書こう」では、具体的なまとめの方法や書き方が示され、生徒の表現力がより高まるよう工夫されている。 ・「MATHFUL」では、実生活に生かされている数学の内容が紹介され、数学の世界と実生活とを関連付けられるよう工夫されている。 ・各章で学んだ内容を、問題を通して振り返ることができるように、各章末問題に評価の観点が示されている。これにより生徒自身が学習を評価し、今後の学習につなげていくことができるような構成となっている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・他教科に関連する内容にその教科名を明記し、生徒が意識をもって学習に取り組めるよう工夫されている。 ・統計的探求プロセス(PPDACサイクル)により問題解決に取り組む内容が設定されている。 ・巻頭において「数学の世界へようこそ」で問題発見・解決の流れが示されている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・写真、イラスト、挿絵が豊富で、構図も生徒の目を引きつけやすいものとなっている。また、生徒の関心のある事柄も多彩に取り上げられ、興味・関心を高める内容となっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・ユニバーサルデザインを取り入れ、領域ごとにインデックスが用意され、それぞれ異なったメインカラーが設定されたり、例、例題にタイトルをつけたり、意味が分かりやすい文字入りマークを採用するなど、生徒が見やすくなるような文章表現となっている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【数学】

書名 項目	中学校数学		11 学校図書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・「章とびら」では、身近な題材が扱われており、章の学習の必要性を実感できるように構成されている。 ・各小節に「Q」と目標を設定し、学習の出発点を明確にしている。また、目標の前に「Q」を設定することによって、問題解決に向けて見通しを持って取り組めるように構成されている。目標を提示する際には、生徒の対話場面が設定され、問題を解決していく意欲を引き出すように工夫されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・主体的・対話的で深い学びの実現に向けてすべての章に「数学的活動」のページが設定されている。また、解決への過程を示し、協働的な学習や統合的・発展的な学習につながるように工夫されている。 ・「深めよう」では、章の学習内容をより深め広げることができる課題が設定されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「どんなことがわかったかな」では、項の学習のまとめが設定され、学習の振り返りが行えるようにされている。 ・章末には「できるようになったこと」や「さらに学んでみたいこと」を設定し、章全体の振り返りや今後の学習につながるように工夫されている。 ・「役立つ数学」や「章のまとめ問題（活用）」、「さらなる数学へ」などで、学習内容の応用的な問題や身の周りの事象に活用する課題が設定されている。 ・巻頭には「ノートの使い方」、巻末には「表現する力を身につけよう」を設定し、学習のまとめ方の例示がされている。 ・すべての節に「確かめよう」を設定し、基礎的・基本的な知識や技能が習得できているか確認できるよう配慮されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「数学的活動」のページでは、対話的に学習が進められるように工夫され、言語活動の充実が図られている。 ・各学年ともデータを収集して整理し、判断する数学的活動が設定されている。また巻末には「プログラミングを体験してみよう」があり、興味・関心を高めるように工夫されている。 ・各学年の巻頭に「数学の学び方」の説明があり、問題発見からまとめ・振り返りまでの過程が示されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・日常生活との関連や、問題解決のための具体的な状況に気づかせる際に、挿絵や写真が豊富に用いられ、数学に対する興味・関心を高めるように工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達段階からどのような工夫が見られるか。 ・章ごとにインデックスがつけられている。ユニバーサルデザインの面では、登場する生徒の男女比や言葉遣い、写真やイラストの色彩などが配慮されている。「章のまとめ問題」では基本・応用・活用など習熟度に応じた学習活動が展開できるように工夫されている。小中高の学習内容の接続にも配慮されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【数学】

書名 項目	中学数学	17 教育出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・生徒が見通しをもって学習できるように、各小節に「学習のねらい」が明示されている。 ・各章の導入課題「Let's Try」では、生徒が興味・関心をもって学習に入れるように、生徒の生活に身近な題材が多く取り上げられている。 ・側注に問題解決のプロセスを示したページでは、数学化、活用・意味づけ、統合・発展、体系化などの一連の過程を体験することができ、生徒に「未知の課題を解決する力」が身につくように工夫されている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・本文中の重要な「問い」には、「？」マークがつけられていて、生徒が「問い」をもちながら学習を深めていけるように工夫されている。 ・巻頭に数学の学習を進める上で大切にしたい数学的な見方・考え方を紹介するなど工夫されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・基礎・基本を習得させるため、すべての章の始まりと終わりに学習したことを振り返る場面が設定されていて、生徒が繰り返し学習できるように構成されている。 ・「工夫してノートを書こう」では、友だちの考えや気づき、感想など、ノートに書いておきたいポイントが紹介されていて、生徒が思考力や表現力を育めるように工夫されている。また、章末の「学習のまとめ」には、学習感想の例を掲載することで、生徒が自分の言葉でまとめられるように配慮されている。 ・数学を学ぶ必要性や大切さを生徒が実感できるように、すべての「章のとびら」で、数学が日常生活や実社会に利用されている事例が取り上げられている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・側注に「友達の考えを知ろう」や「みんなで話し合おう」といった課題解決のためのプロセスを示されているページでは、生徒が式・図・表・グラフなどを使って伝え合い、話し合って解決する言語活動の場が設定されている。 ・「データの活用」の領域では、PPDACサイクルに沿って、学習活動を行うページが設けられている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・既習事項の振り返りのページや章の導入、具体場面などの提示に関しては、身近な挿絵や写真を豊富に取り入れ、内容のポイントが一目で分かるように工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・文章表現は数学的な正確さを保ちつつ簡潔に表現されていて、生徒が数学的な良さに触れられるように工夫されている。ユニバーサルデザインの視点では、色が判別できなくても学習に支障をきたすことのないように、図の形状や字のフォントを変えるなど配慮されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【数学】

書名 項目	未来へひろがる数学		61 新興出版社啓林館
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・節の導入にある「学習のとびら」では、身のまわりの題材などが取り上げられていて、生徒が興味・関心を持って主体的に学べるように工夫されている。 ・教科書が「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成になっていて、生徒が主体的に学習していけるように構成されている。 ・利用の節や項などは、「利用場面→ステップ1→ステップ2→ステップ3」の4段階に分けて設定されていて、身の回りの場面から問題を発見し解決するまでの流れを、生徒が見通しを持って学習できるように構成されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・既習事項をもとにして考えたり、予想したりして、新しい学びにつながるように「ひろげよう」が設定されている。 ・学習のまとめりごとに「虫眼鏡」が設定されていて、授業中にふれた数学的な見方・考え方を改めて振り返ることができるように工夫されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとめりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「自分から学ぼう編」の先頭にある「学びのあしあと」では、単元ごとの「学びの記録」が残せるようにセルフチェックシートが設けられていて、学びの達成度を自己評価し、振り返ることによって今後の学習につなげられるように構成されている。 ・章末にある「数学ライブラリー」では、数学が生活や社会の中で有用に働いていることを実感しながら学習できるように工夫されている。 ・「例」や「例題」の解答は、ノート形式で途中式まで記載されていて、生徒が自分から取り組むときの参考にできるよう工夫されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・生徒に豊かな表現力や統合的に考える力を養うために、「説明しよう」、「話し合おう」、「まとめよう」といった言語活動のコーナーが設定されている。 ・1、2年の「学びをいかそう」では、これまでに学んだ数学の内容とプログラミング的思考を融合した題材が取り上げられている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたい資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・数学が使われている場面を学習内容と関連させて写真で紹介したり、本文の説明を補うための説明図や表を効果的に使ったりして、生徒が理解しやすいように工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・章ごとにインデックスをつけたり、ページの縁に色をつけたりするなど、生徒がページを検索しやすいように配慮されている。また、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、本文の文章は、単語の途中での改行を避けたり、意味や文節による改行を行ったりしてあるため、生徒が理解しやすいように構成されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【数学】

書名 項目	日々の学びに数学的な見方・考え方を たらかせるこれからの数学		104 数研出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・章や節において、「学習内容」や「Q」、「めあて」（旗印）が示され、生徒が学習内容を意識して取り組むことができるように設定されている。 ・各章の導入で写真やイラストが多数使用されている。また、映像やデジタル資料を用いた導入が可能で、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・対話場面によるページ構成が多く、対話内で出てくる多様な意見を比較し、複数の意見をまとめていくことで、深い学びが実現できるような構成となっている。 ・注意や工夫を要する点に吹き出しが示されており「見方・考え方」を育成することができる学習活動になっている。 ・生徒の思考を深めるため「探究ノート」において、本冊での課題を自然な形で発展させた内容を取り扱っている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・巻頭に「学習の進め方」を示すことにより、講義、発表、グループ活動の学習活動に見通しをもてるよう工夫されている。 ・「ノートのつくり方」、「レポートを書こう」に考えたことや感想、振り返りの記述例が載っており、生徒の表現力がより高まるよう工夫されている。 ・例題の模範解答例を最後まで描ききること、生徒自身で学ぶことができるよう工夫されている。 ・巻末に、活動における到達目標をチェックリストで掲載しており、振り返りができる構成となっている。 ・章末において「やってみよう」、「調べよう」を設定し、その章で学んだ内容を社会や実生活を例に取り上げ、生徒が数学を学ぶ意義や有用性が実感できるよう構成されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・巻頭の「学習の進め方」において「発表するときは」、「グループで話し合うときは」が示されている。 ・学習内容に関連した補充問題や参考資料を「Link」で示し、インターネット等を活用できるよう工夫されている。 ・コンピューターを使う場面をイメージできる図を掲載し、ICTの活用配慮した構成となっている。 ・「探究ノート」の活用により問題発見・解決能力が育成されるよう工夫されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・写真や図、イラストが多用され、生徒が親しみやすく工夫されている。また、身の回りの事象と関連づけた課題が多数用意され、学習への興味点関心が高まる内容となっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・読みやすくなる位置で改行するなど、ユニバーサルデザインを意識した構成となっている。対話場面の記載や「先生による吹き出し」が多く理解しやすい工夫となっている。また、章ごとにインデックスがあり、ページを検索しやすくなるように工夫されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【数学】

書名 項目	中学数学		116 日本文教出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各小節に学習の出発点となる「Q」の設定や学習内容に対する「めあて」を明確に示されている。 ・各章の始めに「次の章を学ぶ前に」が設定され、既習事項を確認してから新しい章への学習に取り組めるよう配慮されている。また、「章の扉」では学びの必要性・ストーリー性を重視した課題など、興味・関心を促すための場面が設定されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「学び合おう」では、問題解決の過程を示し、主体的・対話的で深い学びが実現できるように構成されている。巻末には「対話シート」が付属され、このシートの活用を通して考える力や説明する力を高めていけるように工夫されている。 ・思考力、判断力、表現力等を育成する工夫として、側注に働かせるべき「数学的な見方・考え方」が示されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・すべての章の章末に記述する力を高める問題として「説明できるかな」があり、学習したことを活かして、自分の言葉でまとめる機会が設定されている。 ・「数学のたんけん」や「数学を仕事に生かす」、「暮らしと数学」などでは、数学の世界が日常生活や社会とつながるような話題を取り上げ、数学のよさを実感し、数学を学ぶ意欲を高められるように工夫されている。 ・「ノートの工夫」では、各学年の巻頭において振り返りの観点を明示し、その具体的な記述も紹介されている。 ・各小節の分量が調節され、1時間の学習内容として構成してあるため、学習の区切りが明確で復習がしやすいように配慮されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「学び合おう」では、話し合いを通して解決したり、考えを高めたりする言語活動の充実につながるように工夫されている。 ・「プログラムと数学」がすべての学年で設定されている。また、データを収集して整理する体験を伴う学習も配置されている。 ・学年の巻頭では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して学んでいく「数学の学習を始めよう」や「数学的な見方・考え方を身につけよう」によって、数学の学び方が示されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・写真、図、表を用いて、効果的に学習を支援し、数学に対する興味・関心を高めるように工夫されている。問題解決のポイントには、生徒やキャラクターの挿絵が用いられている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・章ごとにインデックスがつけられている。ユニバーサルデザインの面では、UDフォントを使用、読みやすい位置での改行など配慮されている。「補充問題」や「活用の問題」など習熟度に応じた学習活動が展開できるよう工夫されている。数学的に説明する学習の初期段階では穴埋め形式で説明を完成させる問題が設けられている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

<p>書名 項目</p>	<p>新しい科学</p>	<p>2 東京書籍</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>	
	<p>○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・「問題発見」で写真やイラストを大きく掲載し、生徒が問題を理解し、目的意識を持って学習に取り組めるように工夫している。 ・教科書の下方に探究活動の過程を示し、問題発見や活用の文字色を反転させることで、生徒が見通しを持って取り組める工夫をしている。</p>
	<p>○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・「つながる科学」で学習内容を日常生活や自然のふしぎ、科学の歴史と関連付けることで思考を広げる工夫をしている。 ・「学びを生かして考えよう」「課題に対する結論を表現しよう」で、学習内容を活用し表現する活動を取り入れ、思考を広げる工夫をしている。</p>
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・「Before & After」で、学習前後の自らの思考の変化を客観的にとらえることができる工夫をしている。単元冒頭の「単元で学ぶこと」で、各章で学習することを端的に示してあり、どのような学習を進めていくかを明確にしている。 ・「チェック」「学習内容の整理」「確かめと応用」で語句の確認と問題演習を通して理解の確認ができる工夫がされている。 ・「つながる科学」で、学習内容が日常生活や社会などに関連付けて理解されるようになっていて、理科の有用性が実感できるような工夫がされている。</p>
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>	
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・「課題に対する結論を表現しよう」では、結論を自分の言葉でまとめることにより自分の考えを明確化し言語活動の活性化を図る工夫をしている。 ・情報収集が必要な箇所やつまづきやすい学習内容の箇所などに「Dマーク」を付し、ICTの活用を促している。 ・毎時間「レッツスタート！」で、問題発見の場面を設定し、主体的に問題を発見しやすいような工夫をしている。</p>	
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・生徒が話し合うイラストが多く示され、学習前の自分の考えを明確化する工夫がされている。 ・発展として巻末に自分で組み立てる地学単元のペーパークラフトが付けられている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・1年生の教科書は現在使用されている小6の教科書と同じ大きさの文字が採用されている。 ・全体的に文章が短文で明快かつ簡潔な表現になっている。</p>	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

書名 項目	理科の世界	4 大日本図書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・「問題を見つけよう」で課題に気づく場面を設定し、生徒が既習事項から次の課題を把握できる工夫をしている。 ・課題を黄色で大きく示すことで、生徒が主体的に課題について考え、見通しを持った活動ができる工夫をしている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・キャラクターや生徒のイラストの吹き出しから、比べ方や異なる観点を示し、多角的・多面的な視点で思考できるように工夫をしている。 ・「Science press」で様々な実験方法や発展的な内容を示し、生徒の思考を広げられる工夫をしている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・単元の冒頭に「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」が見開き1ページでまとめられており、単元内で学習することの流れが示されている。章末では学んだことが確認、振り返ることができるようになっている。 ・「まとめ」「単元末問題」で身についた知識を確認、活用できるようになっていて、「読解力問題」では学んだことを活用したり表現できるようしたり工夫されている。 ・「くらしの中の理科」では、理科の知識が身のまわりの生活と関わりのある内容が紹介され、有用性が感じられるようになっている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「話し合おう」での話し合いのしかたをもとに、自分の意見を相手に伝えられるようにしている。 ・インターネットの利用、コンピュータなどのデジタル機器の活用を通して情報活用・処理能力や態度が育つよう工夫している。 ・「問題を見つけよう」で、考えるための科学的な視点を示すとともに、キャラクターの吹き出しでヒントを提示し、問題発見のきっかけを作っている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・各単元の扉には見開きを使ってインパクトのある写真やイラストが掲載されている。 ・読み物資料が豊富で、巻末には科学館や博物館、動物園などの紹介が掲載されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・1年では、本文や囲み資料の文字を2、3年生よりも大きくしている。 ・「ことば」では、漢字や英語での表現などに関する話題がとり上げられている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">中学校科学</h2>		11 学校図書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・実験のページの冒頭に実験の手順を示すことで、生徒の探究心を高め、意欲的に取り組める工夫をしている。 ・赤色で強調された課題の前に「見方」「考え方」を同時に示すことで、生徒が見通しを持って取り組める工夫をしている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「学び続ける理科マスター」で学習内容の振り返りや身のまわりの事象や現象にはたらきかけることで思考を広げる工夫をしている。 ・巻末には「学びの交換 アイデアボード」というホワイトボードが添付されており、考えを対話的に扱い思考を広げ深められる工夫をしている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「学びのあしあと」で学習前後の自己の変化が振り返ることができる工夫をしている。「問題発見」で気づきの場面を設定するとともに、「Can-Do List」で目標を明確に示すことで見通しをもてる工夫をしている。 ・1時間毎に「この時間の課題」「この時間のまとめ」が明示され、学習内容が確認できるようになっている。 ・「学びを日常にいかしたら」で、学習内容を活用して身のまわりの課題を解決でき、理解や思考が深められるような工夫がされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・巻末に「学びの交換アイデアボード」を設け、自分の考えをまとめて可視化し、それを基に話し合い活動ができるようになっている。 ・1年生の教科書でインターネットを利用するときの注意や記述を引用するときの注意について取り上げられている。 ・章はじめの「Can-Do List」で、資質・能力の3観点を明示することで、全ての章で意識できるよう工夫されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・単元導入部では、見開き2ページでダイナミックな紙面構成となっている。 ・グラフでは、色だけでなく線の形を変えるなど区別できるよう工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・学年ごとに「探求の過程」で重視する項目を変え、発達段階を踏まえた構成となっている。 ・文章は短文で、明快かつ簡潔な表現になっている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

書名 項目	自然の探究 中学理科	17 教育出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・「考えよう」で身のまわりの事象を示し、生徒が課題をつかみ、解決に向けて思考できる工夫をしている。 ・「課題」と「結論」を太字、赤色と強調し、吹き出しで課題解決への視点を示すことで、生徒が見通しを持って課題解決ができる工夫をしている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・生徒の吹き出しを異なる視点を与える内容とすることによって、生徒が多面的・多角的に思考できる工夫をしている。 ・「ハローサイエンス」で学習内容に関する理科の歴史や日常生活、SDGsに関連する資料を示し、思考を広げ深められるように工夫している。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「学んでいくこと」で学習内容とその流れが端的に示され、「学習前の私」「学習後の私」で、自らの考えの変容に気付くことができるよう工夫がされている。 ・「要点チェック」「要点と重要用語の整理」「基本問題」で学習内容を振り返り、確認できるようになっている。 ・巻末に「自由研究」を設け、学習内容を活用して身のまわりの疑問を解決していく方法が示されている。「ハローサイエンス」で、日常生活や社会との関わりが紹介され、理科の有用性が実感できる工夫がされている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「話し合おう」では話し合いの視点を示し、グループ内での対話が生まれるよう工夫されている。 ・タブレット端末やパソコン等の活用場面を具体的に示し、ICTの活用した学習を示している。 ・巻頭の「探究の進め方」で課題解決の方法について示し、問題発見・解決能力の視点をとらえられるよう工夫されている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・大判の紙面を生かし、見開き表示などダイナミックなイラストや写真が豊富に搭載されている。 ・巻末に実習や観察で用いる厚紙のカードやシールが付いている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・1年生は、2、3年生より大きなフォントサイズを用いている。 ・重要用語が太く赤字で示され、課題・結論を赤枠で囲み強調されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

書名 項目	未来へひろがるサイエンス		61 新興出版社啓林館
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・鮮明な写真を大きく掲載して生徒の関心を高め、「ためしてみよう」で身近なものでできる実験を示し、生徒の学習意欲を高める工夫をしている。 ・「課題」を「？」と太字で示し、観察・実験の留意点を示すことで、課題解決へ見通しを持って取り組める工夫をしている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「深めるラボ」で発展的な内容を示すことで、生徒の思考を広げる工夫をしている。 ・キャラクターや生徒のイラストの吹き出しから、比べ方や異なる観点を示し、多角的・多面的な視点で思考できるように工夫をしている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・身近な問いを通してその単元を貫いた学習内容の見通しが持てる工夫がなされている。「学ぶ前にトライ」「学んだ後にリトライ」で学習前後の自分の考えの変容を振り返ることができる工夫がされている。 ・「学習のまとめ」「力だめし」で重要用語の確認、問題演習を通して理解を確認でき、「学年末問題」で総合的に学習内容の確認ができるようになっている。 ・節末にある科学コラムには、学習内容が実社会、実生活と関連付けられる内容が扱われている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「みんなで解決」では仮説や計画を立てる話し合いや、知識を活用する身近な問いで、対話が生まれるよう工夫されている。 ・「ICTの活用」で、ICTを活用した情報の入手、データ処理、結果の共有・発表などの調査・研究の方法を紹介している。 ・「探Q実験」で、仮説や計画などを生徒自身が考える場面が設定されており、自らの課題解決の方法を振り返ることができる工夫がされている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・単元導入部に、好奇心にはたらきかけるダイナミックな写真が掲載されている。 ・「ひろがる世界」で、学びの広がりや深まり、理科の有用性を実感出来る工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全学年、「生命」「地球」「物質」「エネルギー」と単元名が同じで系統性を持たせている。 ・1年に「自然の中にあふれる生命」を設定し、小・中学校間を円滑につなぐ工夫がされている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【音楽（一般）】

書名 項目	中学音楽 音楽のおくりもの		17 教育出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・表紙は教材をイメージしたイラストが描かれている。主体的に学び合う活動展開として【ACTIVEすすんで学び合おう】がある。音楽科教材の配列を工夫して、わかりやすく【学びのユニット】と何を学ぶのかを示している。P4・5 ・学習目標がページ左に記載され、課題解決への手立てを示している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・【深めてみよう】【すすんで学び合おう】が歌唱、鑑賞、創作に設けられている。ワークシートに直接書き込むことができるようになっていて、思考し整理しながら生徒が学習を深められる。ワークシートには手順が示している。創作では、つくった旋律で交流したり、活動1・2・3を設けたり発展的に取り組める工夫がある。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・主教材を深化・補充する「比べてみよう」⇔「深めてみよう」+などで構成されている。 ・鑑賞教材は、「比べてみよう」で違う曲との聴き比べができる工夫がある。 ・キャラクターが、「説明してみましよう」のような言葉を示し、まとめに導く工夫がある。 ・創作では「チャレンジ」「もっと楽しもう」やキャラクターのコメントにより、主体的に課題に興味をもって取り組むことができる工夫がある。 ・「私たちのくらしと音楽」（2・3上下）では著作権、音楽療法、アウトリーチなど、音楽を生かせる仕事や活動について掲載している。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・教師と生徒のキャラクターの会話により、楽曲のもつ特徴を言語化している部分や、言語活動を促すコメントがある。「話し合おう」のコーナーでは記述欄も設けている。 ・二次元コード「まなびリンク」より、主体的に音源や知識を得ることができる。 ・ワークシートが多く、課題解決へのヒントや問が示されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・表紙の裏口絵①見開きに共通教材の美しい写真を「日本の歌・みんなの歌」として掲載している。口絵②共通歌唱教材の写真、作曲家（シューベルト・ベートーヴェン・滝廉太郎）のエピソードを掲載している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・「発展」では「音ってなあに」から音楽の3要素について発展的に学習ができるような工夫がある。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【音楽（一般）】

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">中学生の音楽</h2>		27 教育芸術社
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・表紙に音や音楽と関わる中学生が描かれ、主体的に音楽に向き合う情操が育まれる工夫がある。 「心の歌」として歌唱共通教材を「歌い継ごう日本の歌」として提示し、富士山をイメージしたマークを掲載している。3年間を通して「情景を思い浮かべながら歌おう」という工夫がある。 ・「深めよう！音楽」「My Melody」「Let's Create!」「指揮をしてみよう」では、ねらいや課題解決の手立てを具体的に示している。キャラクターによるコメントもある。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「深めよう！音楽」では、曲についての特徴を感じ取ったことをワークシートに直接書き込むことができるようになっていて、思考し整理しながら生徒自身で深められる。ワークシートには手順が示されている。「Let's Create!」の創作もワークシートがあり取り組みやすい。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・学習内容を新学習指導要領で示された資質・能力と対応する教材が見開きで示されていて一目でわかる工夫がある。学ぶ内容を見通すことができる。P8・9 ・「深めよう！音楽」では演奏した曲のまとめに導く課題を提示している。 ・「チャレンジ」にある課題やテーマに取り組むことにより主体的に学び合い、学んだことを生かすことができる。「生活や社会の中の音楽」で仕事と音楽など生活との関連の内容を示している。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・各教材にねらいを達成するために右上に記号（2分休符など）が書かれ、その説明しているページがあり、音楽の言葉を用いての言語活動が促される。 ・二次元コードで、教材に関連する情報を調べられるようになっている。1年ではインターネットなどによる調べ学習を掲載している。 ・キャラクターにより、ねらいと学びのポイントを達成させるための課題のコメントがある。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・表紙の裏には作曲家木下牧子や松任谷由実、マリア・カラス等の写真とメッセージがあり中学生に問いかけている。「音楽ってなんだろう？」では、文章とともに、見開きで、音楽活動をする人々や文章の内容をイメージした風景を掲載している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・「音楽の約束」は音楽の要素について発達段階に応じた内容とレイアウトになっている。 ・変声期の歌声についての説明や声のでる仕組みのイラストがとてもわかりやすい。1年のみ、ページ端に記号を調べられるページが書かれている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【音楽（器楽合奏）】

書名 項目	中学器楽 音楽のおくりもの		17 教育出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・表紙には音楽と関わる演奏家が描かれている。各楽器の構造や名称、奏法についてわかりやすく写真を多く取り入れている。めあては上部に横書きで丁寧に示されている。 ・リコーダーでは段階的に練習ができるような練習曲が掲載されている。練習曲が終わると、まとめの曲としてステップアップできるようになっている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「何が同じで何が違う？」では、学習した楽器のうち種類が同じものを比較して共通点や相違点を考えるための参考曲を挙げている。個人の記述欄と「話し合おう」を設け、友達との交流を図ることができる。記述欄にはポイントを明確に示し「自分が着目したもの」という項目を設けている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・名曲旋律集では、「中学音楽」の教科書と対応または関連させた曲を掲載している。 ・各楽器に共通して、特徴的な技能の説明と練習曲の後に発展させた「p〇〇のまとめの曲」に取り組めるようになっている。 ・「聴いてみよう」では、各楽器の知名度の高い代表的な楽曲を挙げている。 ・口絵②「With my heart」で、演奏家からの「心をこめて」中学生のみなさんへというメッセージを掲載している。「let's Play」では「カントリーロード」「となりのトトロ」など選曲を工夫している。また、ギターコード表を最終ページに織り込みで閉じてあり、ギターを演奏する時の配慮がある。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「何が同じで何が違う」では自分の考えを記述し、「話し合おう」というワークシートがある。 ・「まなびリンク」により、主体的に調べたり、音源を得たりすることができる。 ・楽器の奏法をわかりやすい写真で説明し、活用しながら演奏できるよう工夫している。 唱歌（三味線を含む）について、旋律や奏法を覚える手立てを示している。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・写真がイラストより多く、生徒が現実的にイメージや興味を持ちやすい。表紙の裏口絵①では世界の楽器のいろいろな写真を掲載し、生徒が学びたくなる工夫がある。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・各楽器に共通して、楽器の説明、演奏者のことば、演奏場面や楽器の写真から始まる。「まとめの曲」では、曲を選んだり、入れ替えが可能な曲を「Let's Try」に掲載したりしている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【音楽（器楽合奏）】

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">中学生の器楽</h2>		27 教育芸術社
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・表紙に音や音楽と関わる中学生が描かれ、主体的に音楽に向き合う情操が育まれる工夫がある。各楽器の構造や名称、奏法について写真やイラストでわかりやすく説明している。 ・学習内容と教材の関連を一覧で示している。P8「深めよう！音楽」「My Melody」では、ねらいや課題解決の手順を具体的に示している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「深めよう！音楽」では、教材についてねらいを達成させるための思考の手順を示している。「注目するポイント」で[共通事項]を焦点化している。キャラクターによるコメントにもヒントがある。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・楽器の特徴や奏法、学習内容がイラストや図で示されていて一目でわかる工夫がある。学ぶ内容を見通すことができる。 ・「深めよう！音楽」では演奏した曲についてのまとめに導く課題を提示している。 ・生徒がよく知っているポップスやアニメの主題歌、リコーダーで「世界に一つだけの花」「笑点のテーマ」「美女と野獣」、箏で「少年時代」「夏祭り」、篠笛で「もののけ姫」を演奏できる楽譜が掲載されている。生徒の興味関心を高め、生活を豊かにすることができる選曲の工夫がある。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・教師と生徒のキャラクターの会話により楽曲のもつ特徴や思考の流れや発表例を言語化している部分がある。 ・二次元コードで、教材に関連する情報を調べられるようになっている。 ・箏では楽器固有の楽譜を掲載し、「虫づくし」「姫松」「さくらさくら」等、演奏のポイントを示し自主的に学習できるような工夫をしている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・表紙の裏は「ピアノで語るといふこと」演奏家のメッセージがあり、4・5ページ「音楽ってなんだろう？」では、見開きで音楽活動する人々の写真17種類を掲載している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・楽器についての学習だけでなく、演奏者からのメッセージを載せるなど、中学生の心情に訴える工夫がある。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【美術】

書名 項目	美術		9 開隆堂出版
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して学ぶ内容や学習の魅力などのメッセージを領域ごとに設け、各学習活動の意味や目的を考えることができるように工夫されている。学習の目標が、生徒に育成したい資質や能力を授業（学習）の中心的な目標として、整理されている。 ・発想や構想のヒント、制作の手立てなどを写真や文章で手順がわかるよう示している。「作者の言葉」を取り上げ、作品への興味関心を高めている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材の「学習の目標」に発想や構想に関する目標を示すとともに、学習を深めるための「学習のポイント」や発想・構想の方法、学習の進め方のアイデアが示され、生徒が主体的に活動できるよう工夫されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・分野を「絵や彫刻」と「デザインや工芸」の大きく2つに分けて題材が構成されており、分野ごとに「表現」と「鑑賞」の学習内容に分けて提示されている。 ・各題材で「美術の用語」が示されており、基礎的な知識や技能について効率よく習得できるように配慮されている。 ・美術で培った力を生かして、社会で活躍する方々からのメッセージで構成された「暮らしに生きる美術」を導入ページとして設けるとともに、美術の力が実際に役立っている事例が効果的に示されている。 	
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働して活動する題材を複数取り上げ、生徒同士のコミュニケーションや言語活動が深められるようになっている。 ・写真や動画を撮影する活動の特設ページで、著作権や肖像権を侵害することなく適切に情報を扱うために、注意を促す文章が注意喚起のマークとともに示されている。 ・現代的な話題や身近な問題などを取り上げ、造形活動を通して問題解決につながる事例が複数示されている。 		
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館のサイトや作品例などにリンクする二次元コードが教科書のページごとに掲載され、主体的な学習を促している。 ・基礎的な知識や技能については、巻末に「学びの資料」として系統的に示されている。（計33ページ） <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各領域・各題材のつながりを意識し、学習の流れを大切に構成となっている。中学生以上で習う漢字すべてにルビが記載されたり、文章の意味をまとまりごとに改行の位置を工夫したりするなど、多様な個性を持つ生徒への配慮がされている。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【美術】

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">美術</p>		<p style="text-align: center;">38 光村図書出版</p>
<p style="text-align: center;">内容</p>	<p style="text-align: center;">＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの題材で「表現」と「鑑賞」を一体的に学べる構成のため、学習の流れが一目で分かり、生徒が主体的に学べる工夫がされている。題材のはじめの「鑑賞」では、その題材で身につける力を生徒の視点に立った言葉で示している。 ・表現中心の題材では、作品の発想、構想の手立てを写真とともに詳しく示したり、「みんなの工夫」と題して生徒の制作過程を詳しく紹介したりすることで、生徒が自分の表現に生かすことができるよう工夫されている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材に「鑑賞活動」が設けられ、見方や感じ方を深める工夫がされている。また、多様な発想の手法を紹介し、生徒が発想や構想を広げ、深められるように工夫されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材で、対話を生み出す問いを示した鑑賞と、発想を広げ構想を練るための手立てや制作過程を示した表現活動、題材の最後により理解を深める鑑賞活動が示されており、表現と鑑賞を一体的に学べる構成になっている。 ・鑑賞図版は、より本物に近い感覚で鑑賞できるよう、図版の見せ方（原寸大、観音開き）や紙質などに工夫を凝らし、実感的な理解を促している。 ・「地域と美術とのつながり」というページで、生徒が生活と美術との関連を意識できるよう工夫されている。 	
	<p style="text-align: center;">＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材の最初に問いかけを設けており、生徒が主体的に鑑賞し、自然に対話が生まれるよう工夫されている。 ・写真や動画撮影の解説では、他者の著作権や肖像権を侵害することのないよう、注意を促す文章が注意喚起のマークとともに協調されている。 ・完成作品と合わせて制作の手順も適宜示されており、技能の習得・活用に結びつく工夫が見られる。 		
<p style="text-align: center;">その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞題材では、トレーシングペーパーに書き込んで作品への理解を深めたり、関連性の強い作品を比較して鑑賞できたりするような工夫がされている。 ・二次元コードは、教科書ごとに「絵・彫刻」「デザイン・工芸」「資料」の分野にページごとにまとめられ、生徒の表現活動や鑑賞活動を支援できるよう工夫されている。 ・各題材の下部に、関連するページを示し、材料や用具、技法、形と色彩など、さまざまな資料を巻末にまとめ、具体例を示しながら解説している。（計54ページ） <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境界を明確に区別できるように編集され、弱視の生徒に対応した拡大教科書を作成するなど、特別支援教育へ配慮している。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【美術】

書名 項目	美術		116 日本文教出版
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「サブタイトル」、「メインタイトル」をそれぞれ示すことにより、生徒の意欲を引き出す工夫がされている。三つの柱に照らし合わせた「学びの目標」と〔共通事項〕への気付きを促す「造形的な視点」が効果的に掲載されている。 ・知識及び技能の習得と鑑賞の視点を広げる「作品解説」、学びを深める手助けとなる「作者の言葉」、題材と関連した学習内容につながる「参照マーク」を設け、見通しが持てるように構成されている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・発想や構想の手立てとして、作家やアーティストの思考のプロセスを例示している。また、活動する上で「造形的な視点」を身に付けられるような問いが示されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・分野を「絵や彫刻」、「デザインや工芸」の2つに分けて題材が構成されており、美術1ではそれぞれの活動の入口としてガイダンスページを設けることで、何をどのように学ぶのかを理解することができる内容になっている。 ・鑑賞図版では原寸大や観音開きの見せ方や、実際の色に近づけた高精細印刷がされていることで、造形的な視点を豊かにするための実感を伴った理解が進む工夫がされている。 ・作ったものを生活や社会に生かしたり、地域とつながったりする事例が掲載されており、美術の学びが今後の生活や社会に大きく関わることを示している。 	
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見や考えを交換しながら協働して造形活動を行う様子が紹介され、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるように工夫されている。 ・写真や動画を撮影する際の注意や肖像権・著作権について適宜示されている。 ・教科書全般を通し、様々な立場で活躍する人々の考え方が示され、生徒が作品をよりよくするヒントとなっている。 		
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景写真や興味を広げるコラムが複数掲載されている。 ・二次元コードは教科書ごとに、教科書ガイダンス動画、表紙に使用された作品の動画も掲載され、紙面との併用や家庭学習にも使用することができるよう工夫されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間の発達段階に則した題材設定になっている。キャリア教育や人生や社会を豊かにする美術の力について考える題材が掲載され、広がりのある構成となっている。色覚の特性のある生徒でも、色名が覚えられるように表記がされている。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健体育】

書名 項目	新しい保健体育		2 東京書籍
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・基礎的・基本的な知識の習得のために、「学習課題」で学習内容を明確にし、本文に即した資料を使って学習活動を進めるようになっている。 ・小・中・高等学校との系統性を重視するために、各章の扉に小・高等学校で学ぶ内容を示している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「クールとコール」というキャラクターを使い、学んだことをより主体的な内容や課題として捉えられるように工夫されている。 ・各章の最後に章末資料・学習のまとめ・活用の問題があり、それを使ってさらに学んだ知識を深められる。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・1時間で見開き2ページとなっており、適切な学習量の中で問題発見・解決能力を養うことができる。 ・見通しを持てるよう、「見つける」・「学習課題」・「課題の解決」・「広げる」という流れで課題解決的な学習を進めるものとなっている。 ・章末の「学習のまとめ」では、「確認の問題」・「活用の問題」・「日常生活に生かそう」から構成され、知識の習得だけでなく、それを深めるための工夫がなされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・各章の扉では道徳との関連がわかるように明記され、またデジタルコンテンツの中には関連する他教科の教科書紙面などが掲載されている。 ・章末資料において、必要な情報を入手・活用する力を育むことができるように工夫されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・2次元コードからデジタルコンテンツを利用でき、学習に関連のあるホームページはもちろん、自社制作の動画や他教科の資料へのリンクなどが多く提示されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・章末資料では今日的な教育課題に関わる資料を多く掲載している。また、デジタルコンテンツでも網羅されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健体育】

<p>書名 項目</p>	<p>中学校保健体育</p>		<p>4 大日本図書</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・スポーツの魅力が溢れるキャッチフレーズと写真が充実しており、オリパラ・健康・食事・スマホとの付き合い方など、現代的なテーマの口絵が充実している。 ・保健体育で学べる内容が見開きで書かれていて「学習のねらい」「つかもう」「活用して深めよう」の流れで統一されている。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・主体的に学習に取り組むために「トピックス」や「リンク」、章末資料の「トピックス+」などの欄を設けている。 ・「活用して深めよう」というコーナーが最後についていて、学習したことを活用して取り組む活動を載せているので思考を深められる工夫がある。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・紙面構成が左ページに本文、右ページに資料掲載と明確に分けられている。内容が精選され、ポイントが絞られている。 ・「学びを活かそう」のページがあり、より学習を深められる資料がある。 ・各章末に「学習のまとめ」として各章の学習の中での重要な言葉をまとめて掲載しており、学習内容の整理に役立つようにしている。</p>	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・関連した内容を学習するページや他の教材とのつながりを「リンク」というマークで示している。 ・小中高連携も意識して構成されている。 ・現代的な諸課題に対応した資料が豊富である。</p>	
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・ワイドな見開き構成で、生徒が行動に照らし合わせて考える例示、科学的なデータ、理解を補う図を資料としている。 ・学習内容をより深めるイラストや写真、「ミニ知識」、「トピックス」が適所に設けられている。 ・欄外に学習に関連のあるホームページを紹介している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・簡潔な文章と精選された語句で構成され、内容が整理されている。</p>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健体育】

書名 項目	最新 中学校保健体育		50 大修館書店
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・運動やスポーツには多様な関わり方や楽しみ方があることが記載され、興味・関心・能力に応じて運動やスポーツが楽しめるよう工夫がされている。 ・「章のとびら」に小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「クローズアップ」「特集資料」が設けられており、生徒の思考を広げ、深めるための工夫がみられる。 ・イラストや図表が豊富に掲載され、視覚的にも知識と技能の習得に役立つよう工夫されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・単元ごとに「今日の学習」が記載され、この授業で何を学ぶのかが明確化されることにより、学習への意欲が高まるよう工夫されている。 ・毎時間の「学習のまとめ」の大部分が記入形式になっており、読むだけで終わりではなく、書くことで確認できるようになっている。また、各章末に「章のまとめ」を設け、基礎・基本の習得や確認の問題が示されている。 ・実生活に生かして考える課題「体育の窓」「保健の窓」を通して、実践力を養う工夫がされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・関連するコラムや資料の近くに各種マークを記載し、他教科との関連が深められるように工夫されている。 ・SDGs「持続可能な開発目標」を体育的視点で取り入れており、他教科や他分野との関りを理解できるよう工夫されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・近年の問題を「コラム」や「事例」として取り上げ、特に「コラム」ではスポーツ関係以外の著名人も例に挙げられており、興味を引くものになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・6個のマークを示し、学習を深めたり、他教科や他のページとのつながりを示すような工夫がみられる。 ・本文などにはUDフォントが使用されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健体育】

書名 項目	中学保健体育		224 学研教育みらい
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・基礎的・基本的な知識の習得のために、「学習の目標」で学習内容を明確にし、本文に即した資料を使って学習活動を進めるようになっている。 ・小・中・高等学校との系統性を重視するために、各章の扉に小・高等学校で学ぶ内容を示している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「ウィズ (With)」というキャラクターを使い、学んだことをより主体的な内容や課題として捉えられるようにしている。 ・章末の「生活への活用」、「まとめる・深める」では、習得した知識を生かして、学習することができるようになっている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・1時間で見開き2ページとなっており、適切な学習量の中で問題発見・解決能力を養うことができる。 ・見通しを持てるよう、「課題をつかむ」・「考える・調べる」・「まとめる・深める」という流れで課題解決的な学習を進めるものとなっている。 ・「探求しよう」や「実習」がじゅうじつしていて、章のまとめは「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」「生活への活用」の習得した知識を生かす学習になっている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「関連」では、体育理論や保健の学習と関連した体育実技や道徳を含む他教科の内容を示している。 ・各章の扉に「保健体育と情報」のコーナーがあり、学んだことを自身の健康の保持増進に生かす大切さや必要性に気付くことができるものとなっている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・本文の位置をページ左側に固定し、常に同じ視線の流れで学ぶことができるように工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・口絵では今日的な教育課題に関わる資料をダイナミックに、あるいは繊細にまとめられている。また、体育理論や保健の学習でも具体的に各分野について提示されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【技術・家庭科（技術分野）】

書名 項目	新しい技術・家庭科 技術分野 未来を創る Technology		2 東京書籍
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・技術の見方・考え方に気付かせる手立てとして、「社会からの要求」「安全性」「環境への負荷」「経済性」について具体的な内容が示されている。 ・「技術の最適化」の考え方に基づく課題解決の仕方について見通しを立てやすくするために、漫画を使用して表現されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・技術の見方・考え方について思考を広げ深めるために、キャラクターの言葉かけや「技術の匠」コーナーが設けられている。 ・「チェック 技術の見方・考え方」欄により、「技術の最適化」についての思考を広げ深める視点が示されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・学習の見通しが立てられるように、「問題解決カード」欄「問題解決のプロセス」が掲載されている。 ・学んだことを生かし、「技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用」について考えるために、「未来のTechnology」のページが設けられている。 ・内容のまとまりごとに、テスト形式で観点別の確認をするための「学習のまとめ」が設定されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「他教科とのつながり」として、既習事項に関する学年、教科、単元が示されている。 ・デジタルコンテンツの活用が有効な場面で「Dマークコンテンツ（二次元コード）」を示し、動画や他教科に関連した資料などの情報を利用するようになっている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・簡単なプログラミングを体験するための「今すぐできるプログラミング手帳」が別冊で付属している。 ・見開きページの右端に色別インデックスやパラパラ漫画が掲載されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・UDフォントで統一され、読みにくい漢字や用語にルビがふられている。 ・タイトルや見出しの背景部分に、分野ごとに異なる配色が施されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【技術・家庭科（技術分野）】

書名 項目	New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する	6 教育図書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各内容とも「つくって（育てて）学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」の3つの章で構成されている。 ・各学習の流れが、「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の3つのステップを基本構成としている。 ・項目ごとに「めあて」が設定されていたり、生徒の興味関心を引き出すために、「見つける」がイラストで表現されたりしている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・各内容とも設計（育成計画）が「問題を発見する」「目的や条件ごとに構想を考える」「構想を具体化する」「設計をまとめる」の4つのステップで示されている。 ・「先輩からのアドバイス」「センパイのアレンジ例」の欄がある。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・実習例に写真やイラストで手順が示され、生徒が見通しを立てて問題解決的な学習に取り組めるようになっている。 ・実習ページでは、自分の技能を確認しながら作業に取り組めるよう、「技能チェック」の欄が設けられている。 ・各章とも技術を評価し活用するための学習活動に取り組むための「まとめ」のページが設けられている。 ・「学びを深め生かそう」の章では、これまで学んだ技術の見方・考え方を働かせて、技術のプラス面とマイナス面を考えさせる欄がある。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・学習の項目の冒頭に、「リンク」の欄があり、他教科との学習の関連を示している。 ・二次元コードを読み取り、デジタル資料を活用できるようになっている。 ・技術関係の専門高等学校に進んだ先輩からのメッセージが掲載されている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・内容ごとに色分けし、それぞれの内容に関連する写真やイラストが配置されている。 ・実践に役立つ基礎内容をまとめたハンドブックが別冊で付属している。 ・「スゴ技」「技ビト」のコラムで、社会で活躍する職人が紹介されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・書体はUDフォントが使用され、重要語句は青色の太文字で、字体を変えて表記されている。 ・見開きページの右端に、内容ごとに色分けがされた、章ごとのインデックスがある。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【技術・家庭（技術分野）】

書名 項目	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて		9 開隆堂出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・学習のまとめりごとに、4コマ漫画を使用したり、ガイドンスのページを設けたりしている。 ・項目ごとに学習目標が設定されていたり、課題解決のための手立てが、「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」の表現で示されたりしている。 ・見通しを立てて実習を進めるために、製作の目的、実習の流れ、取り組む課題について示されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・生徒同士が話し合い、思考を広げ深める場面を設けるために、「話し合ってみよう」のコーナーを設定している。 ・技術の見方・考え方を、「工夫」「技術のしくみ」「科学的な原理・法則」の3つに分けて、思考を広げ深める視点を表現している。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとめりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各内容とも学んだ知識を問題解決に生かせるように、「基礎的な知識・技能」→「問題解決」→「学習のまとめ」の流れになっている。 ・各内容の実習例は、見通しを立てやすくするために、「問題の発見と課題の設定」→「設計・製作（制作・育成）」→「評価・改善」の共通化された3つの流れになっている。 ・各内容とも確認のための「振りかえり」が設定されている。 ・学んだことを生かし、今後の社会における技術の利用について考えさせるコーナーが設けられている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・教科特有の言語活動を通して、成果の発表や自己評価、相互評価を行える実習例が取り上げられている。 ・「情報の技術」を扱うとともに、QRコードを読み取り、動画や資料などの情報を利用するようになっている。 ・各内容の扉に「小学校との関連」「中学校他教科との関連」がまとめられている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・写真や図表、イラスト、コラムなどの資料を掲載している。 ・様々なマークを用い、学習を深めたり、関連を調べたり、振り返ったり、新たな課題を考えたりするときの参考となるようになっている。 ・各ページの下に「豆知識」を設け、興味をもって学習を深めたり課題を考えたりするようになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・UDフォントを使用したり、単語が途中で改行されないようにしたりしている。 ・色覚特性に関わらず、色の区別がしやすいような配色がなされている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【技術・家庭（家庭分野）】

書名 項目	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して		2 東京書籍
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各ページに目標が提示してあり、学習内容が明確である。また、目標の次に提示される「考えてみよう」「やってみよう」などの導入が、課題発見につながる工夫をしている。 ・実習例や写真が多く、「作ってみたい」「やってみよう」など、生徒の興味・関心・意欲を高める工夫をしている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・親しみやすいキャラクターのセリフ・吹き出しが、共感したり、さらに考えさせたりし、思考を広げ深めるきっかけを作っている。 ・「生活に生かそう」の自己評価や、編末の「学習のまとめ」など、教科書に直接書き込み、思考を深められるようにしている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・ガイダンスで3年間の学習内容がわかるようにしている。また、実際に現場で行われていることが多い指導計画のBCAの順に単元を構成している。 ・調理実習例では、「クッキングメモ」「これだけはできるようになろう！」など、ポイントをおさえられるよう工夫をしている。 ・手ばかり、目ばかりの食品見本のページが実物大の写真で示されている。また、実習例、参考例、簡単もう1品などレシピが書かれており、実践に生かせるようにしている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「活動」では、友達と協働して比較検討したり、ロールプレイをしたりして、主体的に調べながら、考えを深める工夫がされている。 ・キャラクターの吹き出しやイラスト、写真、図表など、課題発見、情報活用、課題解決へのきっかけとなるよう工夫をしている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・実物大写真、イラスト、項目に適した図表、「プロに聞く」など、生徒の学習意欲を高めるように資料を掲載している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・全ての生徒にとって認識しやすい書体であるユニバーサルフォントの使用や、読みにくい漢字にふりがなをふるなど、配慮をしている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【技術・家庭（家庭分野）】

<p>書名 項目</p>	<p>New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する</p>		<p>6 教育図書</p>
<p>内容</p>	<p><生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか></p>		
	<p>○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるよ うなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通 し」の工夫</p>	<p>・学習が「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」という構成になっ ている。また、学習の目的が明確で、本文、図、資料、写真 が課題解決につながるように工夫をしている。 ・親しみやすい漫画やイラストが多く、「作ってみたい」「や ってみたい」という意欲を高める工夫をしている。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深め る工夫</p>	<p>・「先輩に聞こう」「メッセージ」を読み、関連のある人から 学ぶことができる。また、「ふり返る」では、自己評価をし ながら学習内容が理解できたかを確認ができる。 ・「学びを生かそう」「やってみよう」「話し合ってみよう」 などでは、学んだことを生かし、実践へつなげ、より思考が 深まるように工夫をしている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時 間のまとまりを見通した単 元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する 「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活 を豊かにする態度につながる工 夫</p>	<p>・野菜の切り方が実物サイズの写真で示されており、生徒自身 が実際に行った際と比較ができる。 ・「学習のふり返り」に学習の視点がまとめてあり、自己評価 をして確認をすることができる。 ・各単元の終わりに「生活の課題と実践」につながる6つのス テップや課題例があり、生活に生かすことができるよう工夫 している。</p>	
	<p><教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか></p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・学習のふり返りのページにある「主体的に取り組む態度」 では、自分の生活と結び付け、言語活動を用いて表現をす る場面が設定されている。 ・各単元に2次元コードがあったり、「リンク」に他教科と のつながりが記されていたりし、学習内容を深める手立て となっている。</p>		
<p>その他</p>	<p><資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「暮らしと年中行事」が見開きでイラストが大きく、工夫されている。また、各ページのキー ワードが青い太字で表現されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られ るか。 ・学習のまとまりごとに「めあて」と「キーワード」を設定し、学習内容が見開きで構成されて いる。「ふり返る」の部分では、自己評価と自分の言葉で整理できるように工夫している。</p>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【技術・家庭科（家庭分野）】

書名 項目	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生		9 開隆堂出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各項目に学習の目標があり、何を学ぶかが明確である。さらに、導入課題が身近なことや、身の回りのことを基にしており、疑問に思ったり、興味・関心が高まったりするように工夫をしている。 ・「作ってみたい。」「やってみたい。」など、意欲が高まるように写真やイラストを掲載している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「考えてみよう」「やってみよう」「生活にいかそう」「話し合ってみよう」などのコーナーでは、生徒が取り組みやすい小課題を示している。 ・「memo」や「参考」「先輩からのエール」など、発展的な内容を取り上げ、さらに思考を広げ、深める工夫をしている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・学習が、主体的・対話的で深い学びとなるよう、教科書全体が同じ流れになるように構成されている。 ・「生活にいかそう」「ふり返り」「学習のまとめ」など、教科書に直接書き込み、自分の考えや理解が確認できるように工夫している。 ・調理実習例のページに調理方法Q&Aがあり、科学的根拠を示しながら、調理方法のこつを説明し、生活に生かせるよう工夫している。また、家でも作ることができるように、身近な料理の実習例を掲載している。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」などでは、言葉、手、頭を使って、主体的・対話的に学びを深められるように課題を工夫している。 ・写真やイラストに吹き出しがあり、興味関心を高めたり、課題解決のヒントとなったりするように、工夫している。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・見開きで写真のページがあり、写真や図が大きく、視覚的に興味を引いたり、理解できるようにしたり、工夫をしている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・ユニバーサルデザインに基づいた設計をしている。また、実物大の写真、カラーバリエーションに配慮した配色、読み間違えにくいフォントなど、工夫をしている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語（英語）】

書名 項目	NEW HORIZON English Course		2 東京書籍
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみよう」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・単元の初めの扉では、なにができるようになるか、単元の GOAL の提示をし、イラストや写真をもとに英語で生徒とやり取りを通して題材内容への興味を高めている。 ・扉において、Point of View（単元を通して貫く問い）を示し、題材を通して考える視点を意識付けしている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・様々な種類の文章と題材で、思考力を高めるとともに、Read and Think では、概要・大意をつかむ、詳細をおさえる、表現につなげるという3段階読みの流れを示し、自分の考えを深め表現する力を育成する構成になっている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各 Stage は Unit・Stage Activity・Let's シリーズで構成されており、各学年の最初のページに Stage ごとに学びのロードマップを示し、目標に到達するための具体的な題材や活動、文法事項を一覧にして学習の見通しを示している。 ・各 stage の成果を確認するために Stage Activity を提示し、テーマ別の自己表現活動を通し、4技能5領域を統合的に扱っている。巻末には CAN-DO リストが提示され、各 Stage が終わるごとに目標達成度を4段階で示し、自己評価できるようにしている。 ・Let's シリーズでは、ホテル・機内・買い物・道案内等、様々な生活場面を設定し、各技能（領域）を伸ばすことができる。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・5領域がバランスよく提示され、5領域を統合的に扱う活動を「統合」として言語活動を充実させている。また、調査結果の発表やプレゼンテーション等の表現活動に取り組みせたり、SDGs に関連した題材や教科横断型カリキュラムに対応したコーナー Learning “…” in English を設けたりして、世界の問題への解決に当たる視点を与えている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・本文関連の写真・資料・図表を掲載すると共に、A4判によるページ数の据え置きをしている。内容関連の動画が見られる2次元コード（デジタルコンテンツ）を提示している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・1年生では小学校の表現を扱った Enjoy Communication を設置している。本文に使用されている語数が示され自分の成長を実感でき、学年が進むにつれ身近な場面から海外へと視野を広げられる。		

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等） 【外国語（英語）】

書名 項目	SUNSHINE ENGLISH COURSE	9 開隆堂出版
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の最初にある扉では、各課の目標・評価の観点を共有し、写真や簡単なリスニングで、題材への興味付けを示している。 ・各単元は、扉・Scenes・Think・Retell・Interact・英語のしくみの6部で構成され、習得→思考→表現→まとめの流れになっていて、見通しをもって学習できる。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の中の思考力を鍛える Think では、まとまりのある英文を読み、さらにより深い読みを促す推量発問が提示されている。また、題材内容について、多様なものの見方や考え方を共有できるような問いである Share が提示されている。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な場面で自分の言葉で表現することを最終的な目標とし、4技能5領域を統合的に活用して行うパフォーマンス活動の Our Project が3年間で8か所配置され、目標から逆向きデザインでの指導計画が立てられる。 ・各単元の最後には、まとめとして「英語のしくみ」があり、学んだことの確認を確認できる。3年間を通じて CAN-DO リストが巻末に1領域ごとに1ページずつ計4ページ提示され、できるようになったことと単元の関連箇所が示されている。また年4回振り返りができるように提示されている。 ・Power-Up では、4技能を使う活動として、生活を豊かにする様々な場面での英語に触れ有用感を育てることができる。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・4技能5領域の活動が記号により提示されており、各単元には、テーマに沿って即興的に話す活動 Try があり、言語活動を充実させている。Steps でマッピングや文章構成の仕方を身につけ、3年間を通して様々な題材を取り上げるとともに、SDGs に関連した題材を取り上げ、教科横断型カリキュラムに対応している。 	
その他	＜資料の構成・配列や表記・表現＞	
	<p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文に関連した写真・資料・図表や題材の背景知識が掲載されている。Word web では、テーマに関連する語彙と活動が紹介され、全学年言語活動に役立つ「アクションカード」がついている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中接続により新出表現は場面シラバスで導入され、学年が上がるごとに新たな目標を設定し自分の学びを意識できる構造になっており、3年間の題材が身近な場面から社会的な場面で活用できるように発展している。 	

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語（英語）】

書名 項目	NEW CROWN English Series	1 5 三省堂
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・Lesson の最初の扉で Part で学ぶことを確認し、学習の見通しが立てられる。題材や場面に関する絵や写真、動画、Q&Aがあり、生徒の背景知識の活性化や学習への動機づけが工夫されている。 ・各 Lesson は Get→Use を設けページの役割を明確にし、基礎・基本的な知識・技能の習得から活用へと学びのプロセスを「見える化」している。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・Lesson にある USE では、学んだ知識や技能を活用できる構成になっている。中でも READ では Get Ready→Read→Think & Write の構成になっていて、段階を追って読み取り自分の考えや意見を整理し、発信するポストリーディング活動を取り入れている。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の最終目標をディスカッションとし、Lesson ではコミュニケーションを図る資質・能力を身につけ、5領域の活動で英語特有の表現や言語の働きを習得、活用できるよう工夫している。 ・学期末学習の Project では目的や場面、状況に応じ対話的で深い学びを引き出す様々な言語活動が設定されていて、学びを振り返ることができる。What can I do? では5領域別に各学年の到達目標が明確に示されている。 ・Lesson の後に設定されている Take Action! ではねらいを明確にした活動や言語の働きを整理することで、目的や場面、状況に応じた聞く力や即興で伝え合う力を養えるようになっている。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの問題や課題について考える力を養えるよう、国語や社会、理科や技術で学んだこと、人権教育や平和教育、SDGs 17項目のうち10項目に関するテーマなどの題材を取り上げている。学期末学習では調べ学習や協働学習を通して統合的な活動に取り組み、課題解決力を身につけられるようになっている。 	
その他	＜資料の構成・配列や表記・表現＞	
	<p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GET の各活動、GET Plus の Word Bank には基礎的な語句や表現がイラスト付きで提示され、基本本文の習得や表現力の強化につなげている。「いろいろな単語」など自律的学習を促す付録がある。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生では Lesson に Starter を設置し、小学校で学んだ言葉の使用場面、アルファベットと文字の読み方、語句や表現を振り返ることができるようになっている。また、2年生の途中まで、小学校で扱った218語が発信語彙として脚注に太字で提示されている。 	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語（英語）】

書名 項目	ONE WORLD English Course	17 教育出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各 Part では目標と言語活動を関連付けて提示している。基礎的・基本的な学習を通して、知識や技能を習得させ、目標の達成に向けた発展的な活動へ段階的に取り組める構成となっている。 ・各 Lesson は3つの Part で構成されており、Lesson の最後にある Review・Task・Grammar のコーナーで Lesson 全体を通した本文内容や語彙の確認、言語材料の統合的な活用に取り組むことができる。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・3つの Lesson ごとの Project では、自分の考えをもとに討論したり、協働して課題の解決に向かったりするなどの学習活動が設けられ、それまで学習してきた知識や表現を活かし、5領域を総合的に活用して課題解決に取り組む活動が設定されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・Can-Do 自己チェックリストでは、小・中を一体にとらえた学習目標を設定している。どの学年でも当該学年だけでなく、3年間の目標を掲載することにより、長期的な見通しをもって達成度を確認できる構成となっている。 ・各 Lesson では、Lesson 全体で達成できたことを3つの観点をもとにふりかえりで確認をすることができる。 ・Activities Plus では既習の表現を使って、即興的にやり取りをする力を身につけられる活動を継続的に実施することができる。学習段階に分けたステージ設定により、既習の言語材料を繰り返し活用できる配慮がされている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・本文の題材には、異文化理解や地理・歴史・環境などの話題が取り上げられ、他教科と連携して課題をとらえられるよう配慮されている。また、Tips では5領域を高めるためのアドバイスを提示し、他教科にもつながる思考力・判断力・表現力の育成につなげている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・各 Lesson の扉には、内容に関連した写真が掲載されている。ミシン加工がされた活動用カードやマスキングシートが付いており、自発的な学習を促す配慮がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・1年生の Lesson 3 までは音声中心の活動を見開き単位で行い、学校生活や家庭生活と言った身近な話題から、学年が進むにつれて世界の多様な在り方について視点が広がるように構成されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語（英語）】

書名 項目	Here We Go ENGLISH COURSE	38 光村図書出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各 Unit の扉ではタイトルや絵、写真を使って題材への興味付けを図っている。ここで単元目標を確認し、学習の見通しを立て、Listen や Watch の活動を通して、Unit の内容について概要をとらえることができる。 ・各 Unit は扉、3つの Part と Goal という構成になっている。各 Part で基本的な知識・技能を習得し、Goal で技能統合的な活動に取り組めるよう構成している。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・各 Unit の Part ごとの学習を通して、基本的な知識や技能を習得できるよう構成している。各 Part の本文や統合的な学習活動である You Can Do It! では、Think や Thinking の問いを設け、文脈から推測して想像力を働かせる活動や、目的に応じて伝える内容を協働で考え、問題の解決に向かう活動が盛り込まれている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各学年の目標、各学期の目標、各教材の目標を構造化して示している。本文は、3年間のストーリーを通じて、生徒が登場人物に感情移入しながら目的や場面に応じた英語を学習できる内容になっている。 ・Unit の最後にあるふり返りでは、巻末の CAN-DO List で示された技能目標とつなげて学習目標の達成度を評価することができる。 ・Story Retelling や Let' s Talk では、本文の内容や身近な話題について、自分の言葉で即興的にやり取りをする活動を継続的に行うことができる。また、Active Words によって使用できる語句や表現を増やし、活動を発展させることができる構成になっている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・Daily Life や World Tour では実生活に即した多様なコミュニケーションの場面や題材について、それぞれの場面で必要とされる領域に焦点を当てて学習することができる。また、SDGs の 17 の目標に関連する題材を取り上げているほか、学校の教育活動や目標との連携が図れるようにしている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・大判のイラストや写真を扉に配置し、内容への興味を喚起する仕組みになっている。2次元コードでは、音声のほか本文ストーリーのスライドアニメも繰り返し視聴することができる。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・小学校での既習語をくりかえし学習できるほか、Your Coach では長期的な目標を持って英語を学習できるよう、中学校以降の学習に役立つ資料の提示がされている。	

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語（英語）】

書名 項目	BLUE SKY ENGLISH COURSE	6 1 新興出版社啓林館
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各 Unit の初めに Can-Do 形式による単元の目標を確認することができる。2、3年生では Unit の扉を設け写真でテーマについて確認することができる生徒の意欲喚起につながる工夫が見られる。 ・各 Part は Get Ready→Practice→Use の流れで、基礎的な知識・技能の習得から活用へとスモールステップで学習できる構成になっている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・各 Part には習得した知識・技能を活用する Use が、内容について考えさせる Read & Think（1年生は Unit 9、10のみ）が設定されており、段階を踏んで思考を広げ深める工夫をしている。2、3年生の More Information では Unit で学習した内容等に関連した情報を提供し、更に知識や理解が深まるよう促している。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・1年生の導入 Let' s Start を 7 課設け、小学校で耳から学習した内容を復習し文字への意識づけを図り、各 Lesson でも音声を重視した小学校との連携に配慮した構成になっている。 ・2、3年生にある各 Unit のまとめや学期末学習では学んだことを振り返り、自分の思いや考えを表現する総合的な活動となっている。どの学年にも領域別に 3 年間でできるようになることが Can-Do リストに明示され、自分で確認できるようになっている。 ・Unit 間には Let' s Talk、Let' s Listen、Let' s Read があり、日常生活に関連した重要表現を学び、英語でやり取りできるような言語活動がバランス良く配置されている
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・理科や社会科など他教科で得た知識を用いることで言語材料を習得し、自分の興味や関心があることについて表現できるよう工夫されている。また、地域を紹介する言語活動、防災や SDG s 1 7 項目のうち 7 項目に関するテーマなど生徒が生活を振り返ることができる題材を取り上げている。
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・生徒が興味関心を持つようなリアルな題材を採用し、本文の状況や内容を示すイラストや写真、図表等も魅力的なものを、活用しやすいよう配置されている。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・1年生の対話文を中心とした本文から、徐々に読み物教材を増やしている。3年生では Further Study でディスカッションや長めの英作文を扱い、高校での学習につなげている。内容も身近な題材から徐々に社会的な話題についての題材となっており、発達段階に合わせた構成になっている。</p>	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	新訂 新しい道徳	2 東京書籍
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各学年1テーマずつ問題解決的な学習の教材が提示されている。ボランティア活動（社会参画）は実際に職場体験を通して実践しようという意欲の湧く教材を使用している。登場人物（主人公）以外でも考えさせられる場面設定があり、多様な考え方ができるようになっている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・「話し合いの手引き」や各学年の「ACTION」コーナーでは、グループエンカウンター的方式で様々な考え方、伝え方を実感しながら身につけるよう工夫されている。巻末の心情円、ホワイトボードを使用し、発表活動、相互理解につなげることができる。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・教材末の「考えよう」「自分を見つめよう」では改めて考えることにより、道徳性の定着が図れるよう工夫してある。「自分の学びをふり返ろう」や「ワークシート」、「つぶやき」等のメモで学期ごとに学習の振り返りができるようになっている。また、学年が上がるにつれて、内容がグローバルになっていき、世界の中の日本人を実感させられる。そこで自分には何ができるか他教科との関連を図っている。ユニバーサルデザインや読みやすい文節改行など特別支援教育への対応配慮が行われている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「自然」に関する項目が他社より多い。新聞記事の投稿からの引用を掲載するなど、より考えを深められるようになっている。全学年「情報モラルと友情」というテーマの教材が用意され、情報モラルを学ぶと同時に道徳的価値について考えることができるよう工夫されている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「デジタルコンテンツ」を表す「Dマーク」がついている教材では動画や教材、他教科リンク等の情報を見ることができる。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・脚注が少なく若干表現の難しさが感じられる。他社では3学年で扱っている教材が2学年で学ぶようになっているなど、発達段階を考えて指導を行うよう工夫が必要。「いじめ問題」「情報モラル」に関しては各学年で扱われており、学習の繰り返しが図られている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	中学道徳 とびだそう未来へ		17 教育出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・導入時に生徒に問いかける言葉がタイトルの下に印字され、自分自身に引きつけて考えるめあてを提示している。教材の最後に「学びの道しるべ」というコーナーがあり、何をどのように考え、話し合うか、学習に見通しを持つことができるよう工夫している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・巻末に「道徳の学びを記録しよう」を設け、自分の成長を実感し、課題や目標を見つけることができるよう工夫している。「やってみよう」では、役割演技をすることで、考えが深まり、様々な立場の考えに触れることができるようになっている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「まなびリンク」の二次元コードが表記され、リンク先の情報を活用することで、知識を深めたり視野を広げたりすることができるよう工夫している。全学年でいじめや差別について考える教材を複数組み合わせ配置し、学びを深められるよう工夫している。道徳の学びを記録することができるようになっており、授業の記録を明確にすることができる。内容項目ごとに纏まっているので、見やすい表記となっている。体験的な学習を伴う「やってみよう」の活動は、全てその直前の教材に関連しており、授業とリンクするよう工夫されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・全学年で、歴史や文化、スポーツなど、都道府県にゆかりのあると、その言葉が掲載されており、他教科との関連が見られる。また、学びリンクを活用することで情報を活用する力を伸ばすよう工夫している。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れ、グラフ等の資料を見分けやすい配色で作成している。著名人、スポーツ選手を扱った教材、定番の教材、現代の問題を扱った教材があり、身近な問題として考えやすいものとなっている。教材の場面にあった大小様々な写真、挿絵、漫画形式の資料などを掲載していて落ち着いた色彩を使用している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・難しい言葉には脚注をつけ、意味を簡潔に表記している。中学校で学習する常用漢字の初出箇所や固有名詞に振り仮名を付している。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	38 光村書籍出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・めあての提示が明確である。全学年の巻頭詩は自己を見つめられるよう工夫されている。現代的課題では身近な題材が多く、進んで議論したくなるような教材が選定されている。また、道徳的な問題と道徳的な価値の二問で構成し、発問の意図を分かりやすくしている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・教材末の「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」で学びを深めるよう工夫している。学年に4ヶ所「深めタイム」を使い、前に学んだことを自分に引きつけていくことができる。いじめ、情報モラルでは全学年に「深めタイム」が設けられており、継続して考えられるようになっている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・現代的課題が多く取り上げられており、コラムと付録では「人と人との関係づくり」を大切にしたコミュニケーションに関して重点的に学習できるようにしている。「考えよう」で前時間までに学んだ場所に戻って、もう一度考え、学びの繰り返しができるようにマークで示されている。発達段階と教材に合わせて役割演技を通じ、主体的に考えられるよう工夫されている。そして一年間を3つのシーズンに分け、学びのテーマに合わせて教材が配置されている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・言語活動を重視した教材、漫画で見せる教材、コラムと読み物がセットのなった教材など多様な教材が掲載されている。「『対話』で広がる道徳の時間」が設けられており、考え・議論する道徳の具現化を図っている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「問題解決的な学習」を取り入れた教材や資料、漫画など様々な形態の教材が用いられ、2015年以降の比較的新しい教材が多い。また、教材タイトル下の二次元コードから様々なコンテンツにアクセスできる。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・中学校以外の常用漢字すべてにふりがながつけられていて、読みに集中できるよう工夫されている。二次元コードを使用することでICTを活用した授業を展開することができる。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	中学道徳 あすを生きる		116 日本文教出版
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3ステップで1時間の学習に流れが可視化となっている。それぞれの教材で「何について考えるのか」が明示されており、導入としても活用ができるようになっている。各教材で議論する時間の確保のために登場人物をタイトル下部で示している。「考えてみよう」でねらいに迫るための発問を示し、学習活動に見通しが持てるよう工夫している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・各教材で「考えてみよう」を設け、考え、議論し、生徒の思考を広げ深めるための発問例が示されている。「道徳ノート」に罫線やマス目が入っていないため、自由な表現方法で書き込みながら、自分自身の考えを深められるよう工夫している。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「いじめ問題」「よりよい社会と私たち」では、異なる内容項目に属するさまざまな教材やコラムを「ユニット」として構成し、より深く、多面的・多角的に思考を深められるよう工夫している。 ・教材ごとに「自分に+1」を設け、授業で学んだことを前向きに自分に生かすための発問例が示されている。教材に関わる補助資料や、話し合いの中で書き込んだ付箋、自作のワークシートなどを貼り付けて、授業の記録を蓄積できるようになっている。 ・道徳ノートが別冊となっており、多様な話し合いに対応させるため、自分の意見と友達の意見を対比できるようになっている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・問題解決的な学習のステップを「学習の進め方」で示し、授業展開がイメージできるよう工夫している。教科書誌面をデジタル化し、豊富な機能やコンテンツとなっている。デジタル教材限定の、教材に関連したスペシャル動画・画像・資料データが収録されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・さまざまなジャンルで活躍している著名人やスポーツ選手の写真、中学生に向けた生き方のヒントや応援メッセージを掲載し、生徒の興味を引きつけるよう工夫している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・中学校で学習する漢字にはすべて振り仮名をつけている。難しい言葉や必要な情報は下段に意味を表記している。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	新・中学生の道徳 明日への扉		224 学研教育みらい
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・巻頭のオリエンテーションでは、道徳への向き合い方が示されている。特設ページ「深めよう」「クローズアップ」「クローズアッププラス」では学んだことを多角的に考え広げられるようになっている。「ユニット学習」では2、3年で「自然」「キャリア教育」の流れを作り、継続性をもって取り組むようになっている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・主題名を表示しないことで、生徒が主体的に考え、意見を交換することができる。その中から様々な考えに触れ、学び合えるようになっている。生徒の自由な発想を促し、豊かな学習ができるよう工夫している。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・命の教育が最重要テーマとなっており、「生命尊重」では生徒が主体的に問題意識を持ち、様々な見方や考え方ができるような心を引き込む教材を掲載している。「いじめ防止」に関する教材では情報モラルと関連づける等、間接的教材も多く扱われている。内容項目に連続性が保たれているので、発達段階に合わせて学習に取り組むことができる。ワークシートに自己評価欄があり、振り返りやまとめができる。また、書き込み欄を活用することで、年間を通して自分の成長を客観的に捉えることができる。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・多面的・多角的に考え、議論することができるよう、異なる複数の意見や関連情報などを積極的に提示している。また、様々な分野で活躍する人や、日本の各地域に関連した内容を掲載している。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・教科書をAB版とし、読み物だけでなく、絵や写真、図やグラフ等の新感覚教材が多く使用され、教材や学びに対する生徒の興味や関心を高めることができるよう工夫している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・漢字は当該学年までの配当漢字や固有名詞にふりがなをつけるなど、どの生徒も読むことに集中できるようになっている。難解な言葉や必要な情報などは脚注で説明されている。		

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	中学生の道徳	2 3 2 廣濟堂あかつき
内容	＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思える ようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・教材ごとに「考える・話し合う」のコーナーを設置し、学習の手がかりとなるめあてや、考えを広げたり深めたりするための問いを提示し、学習の見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫している。巻末に「学びの道すじ」が掲載されており、生徒が見通しをもって学ぶことができるようになっている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・教材ごとに「考える・話し合う」を設置し、生徒が主体的に思考を深めたり、積極的に話し合いを進めたりできるように工夫している。内容項目別に構成された「道徳ノート」を活用することで、内容項目への理解を深め、効果的にねらいに迫れるよう工夫をしている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・道徳ノートが充実している。シンプルだが使いやすく、学びのあとがきちんと残るようになっている。道徳ノートの「心のしおり」には、道徳科で考える視点が示されており、その視点に沿って記述が促され、自分の考えを書きやすくなっている。全教材の最後に教材に関連した格言を掲載し、学習した内容項目への理解や人間としての生き方について考えを深めることができるよう工夫をしている。「自主、自律、自由と責任」「生命の尊重」「思いやり、感謝」「よりよく生きる喜び」を全学年3教材配置し、特に「いじめ防止」「生命尊重」については、一層充実した学習が図られるよう工夫されている。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・学校教育全体で心を育むカリキュラムになっている。他の教育活動との関連を図りやすい内容・構成・配列となっている。特に教育的課題である生命尊重・いじめ防止・情報モラルとの関連を重視している。	
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・ゆとりある誌面で圧迫感のない誌面構成になっている。小学校からの系統性を考慮して、中学1年生では本文の文字を大きくするなどの工夫がある。色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないように配慮されている。（ユニバーサルデザイン）</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・未習の漢字は初出だけでなくすべてに振り仮名を付している。難しい言葉には脚注をつけ、意味を簡潔に表記している。</p>	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【特別の教科 道徳】

書名 項目	道徳 中学		233 日本教科書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・巻頭に詩とオリエンテーションのページ、巻末に振り返りのページがあり、生徒が問題意識をもって取り組み、自己を見つめられるようになっている。学習指導要領の内容項目に対応した番号が各教材のタイトル部分に記載され、各教材で学ぶ道徳的価値を明確にしている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・教材ごとに「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」を設け、自己の生き方への考えを深めさせたり、物事を多面的・多角的に考えさせたりできるような設問を用意し、生徒の思考を広げ深めることができるよう工夫している。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・全学年共通した登場人物を扱う教材を配置し、生徒が学年の発達の段階に応じて共感的に考えられる内容になっている。学習指導要領の内容項目順に教材が配置されている順番に縛られることなく自由に教材を活用し、単元計画を工夫することができる。各学年に1教材、ワークシートを付けたものがあり、自分考えと友達の考えを比較できるようにしている。全学年、巻末に心の成長を振り返るページを設け、一年間の自分自身の心の変容を見取り、学んだことを今後の生き方につなげるよう工夫している。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「情報モラル」については現代社会では生活に欠くことのできない情報機器との関わりについての教材を各学年に掲載し、自分のこととして話し合えるよう工夫している。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・さまざまなジャンルで活躍する著名人やスポーツ選手、歴史人物を扱った教材を掲載し、生徒の興味を引きつけるよう工夫している。大きな写真やアニメ風のイラストを掲載している。各学年の教科書の表紙に使われている写真がとても綺麗で興味をひかれるものとなっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・難解な言葉や必要な情報は下段に意味を表記している。漢字は当該学年までの配当漢字を使用している。配当外漢字の初出箇所や固有名詞はふりがなを付している。		